

第2部 シラバス



I. 必履修科目及び1年次選択科目一覧

年次	教科	科目	単位	履修区分
1年次	国語	現代の国語	2	必履修
		言語文化	2	必履修
	地歴	歴史総合	2	必履修
	数学	数学Ⅰ	3	必履修
	理科	化学基礎	2	必履修
	保健体育	体育	2	必履修
		保健	1	必履修
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	必履修
		論理・表現Ⅰ	2	学校必履修
	家庭	家庭基礎	2	必履修
情報	情報Ⅰ	2	必履修	
総合	キャリアデザイン（産業社会と人間）	2	必履修	
2年次	国語	論理国語	2	学校必履修
	公民	公共	2	必履修
	保健体育	体育	2	必履修
		保健	1	必履修
	外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	学校必履修
総合	総合的な探究の時間 （人間と社会・キャリア教育）	2	必履修	
3年次	国語	論理国語	2	学校必履修
	保健体育	体育	3	必履修
	外国語	英語コミュニケーションⅢ	4	学校必履修
	総合	総合的な探究の時間 （日本語表現・課題研究）	2	必履修
1年次 選択科目	芸術	音楽Ⅰ	2	選択必履修
		美術Ⅰα	2	選択必履修
		美術Ⅰβ	2	選択必履修
		工芸Ⅰ	2	選択必履修
		書道Ⅰ	2	選択必履修
	数学	数学A	2	選択
	外国語	英語プラス	2	選択
	外国語	ハングルⅠ	2	選択
	外国語	フランス語Ⅰ	2	選択

【入学時】選択科目受講について

1年次の選択科目として、計4単位分を選択してください。

- 1 芸術は「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰα」、「美術Ⅰβ」、「工芸Ⅰ」、「書道Ⅰ」から1科目を選択する。各2単位
- 2 選択科目*「数学A」、「英語プラス」、「ハングルⅠ」、「フランス語Ⅰ」から1科目を選択する。各2単位

*選択科目については、原則「数学A」を選択してください。

「英語プラス」、「ハングルⅠ」、「フランス語Ⅰ」の履修に関しては、語学に強い興味関心があり、国際交流や異文化理解教育に関する活動に積極的に参加する意思がある人を対象とします。

Ⅱ. 必履修科目

1. 1年次必履修科目

現代の国語		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		国語	2		1	必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○				○	○	
評価	定期考査の得点と漢字小テスト、提出物等を点数化した平常点で総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	便覧、漢字問題集、学習課題集		¥3,000 程度	便覧、漢字問題集、学習課題集	
受講アドバイス							
内容	<p>○必履修科目として現代文の領域について基礎となる学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりする能力を養う。 ・文章を的確に読むための語彙をふやし、論理的文章を読むための論理の展開を捉えるための基礎的な力を身につける。 ・漢字テストを実施する。 						

言語文化		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		国語	2		1	必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○				○	○	
評価	定期考査の得点と古文単語小テスト、提出物等を点数化した平常点で総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	便覧、古文単語集、学習課題集		¥2,000 程度	古文単語集、学習課題集	
受講アドバイス							
内容	<p>○必履修科目として古文、漢文の領域について基礎となる学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を的確に読むための語彙をふやし、文法や訓読の決まりなどを理解する。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景を理解する。 ・文章に描かれた人物、情景、心情などを味わい、ものの見方、感じ方を広げる。 ・古文単語テストを実施する。 						

歴史総合		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		地理歴史	2		1	必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	課題の設定、レポート、提出物、発表、考査などを総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	図説		¥820	図説	
受講アドバイス							
内容	<p>○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、課題追究学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史の扉 ・近代化と私たち ・国際秩序の変化や大衆化への問い ・グローバル化と私たち 						

数学Ⅰ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		数学	3		1	必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○					○	
評価	年間5回の定期考査の得点と平常点(授業に臨む姿勢や課題提出状況等)により評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	問題集		¥600	問題集	
受講アドバイス							
内容	<p>○数と式 : 実数、無理数の四則計算、集合と命題、展開と因数分解、1次不等式、命題の証明、有限小数・循環小数</p> <p>○2次関数 : グラフの特徴、最大・最小、2次方程式・2次不等式、コンピュータの活用、2次関数の活用</p> <p>○図形と計量 : 鋭角・鈍角の三角比、三角比の相互関係、正弦定理・余弦定理、三角比の活用</p> <p>○データの分析 : 分散・標準偏差・散布図・相関係数、コンピュータの活用、仮説検定の考え方、外れ値、他</p>						

化学基礎		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		理科	2		1	必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○			○		○	
評価	定期考査、授業への取組・提出物等						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	問題集		¥650程度	問題集	
受講アドバイス							
内容	<p>○以下の分野についての学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物質の構成 - 物質の成分と構成元素、原子の構造と周期表 ・物質と化学結合 - 化学結合、化学結合と物質 ・物質の変化 - 物質質量、化学反応式、酸塩基、酸化還元反応 						

体育(1年次)		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		保健体育	2		1	必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
			○				
評価	○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題解決の思考判断・運動技能 ○運動の特性と合理的な行い方と理解と知識 ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○				0		
受講アドバイス							
内容	○体づくり運動、球技、水泳、器械運動、陸上競技、持久走、武道、ダンス等を実施する。						

保健(1年次)		教科	単位	系列	対象年次	履修区分																								
		保健体育	1		1	必履修																								
履修条件																														
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他																							
	○		○		○	○																								
評価	定期考査の得点、授業の取り組み状況、出席・遅刻状況、課題の提出状況を総合的に判断する。																													
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳																								
	○	○	教科書準拠ノート		¥1,100	教科書準拠ノート																								
受講アドバイス																														
内容	<p>○単元「現代社会と健康」</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 私たちの健康のすがた</td> <td>7. 運動と健康</td> <td>13. 感染症の予防</td> <td>19. 交通事故の現状と要因</td> </tr> <tr> <td>2. 健康のとらえ方</td> <td>8. 休養・睡眠と健康</td> <td>14. 性感染症・エイズとその予防</td> <td>20. 交通社会における運転者の資質と責任</td> </tr> <tr> <td>3. 健康と意志決定・行動選択</td> <td>9. 喫煙と健康</td> <td>15. 欲求と適応機制</td> <td>21. 安全な交通社会づくり</td> </tr> <tr> <td>4. 健康に関する環境づくり</td> <td>10. 飲酒と健康</td> <td>16. 心身の相関とストレス</td> <td>22. 応急手当の意義とその基本</td> </tr> <tr> <td>5. 生活習慣病とその予防</td> <td>11. 薬物乱用と健康</td> <td>17. ストレスへの対処</td> <td>23. 心肺蘇生法</td> </tr> <tr> <td>6. 食事と健康</td> <td>12. 現代の感染症</td> <td>18. 心の健康と自己実現</td> <td>24. 日常的な応急手当</td> </tr> </table>						1. 私たちの健康のすがた	7. 運動と健康	13. 感染症の予防	19. 交通事故の現状と要因	2. 健康のとらえ方	8. 休養・睡眠と健康	14. 性感染症・エイズとその予防	20. 交通社会における運転者の資質と責任	3. 健康と意志決定・行動選択	9. 喫煙と健康	15. 欲求と適応機制	21. 安全な交通社会づくり	4. 健康に関する環境づくり	10. 飲酒と健康	16. 心身の相関とストレス	22. 応急手当の意義とその基本	5. 生活習慣病とその予防	11. 薬物乱用と健康	17. ストレスへの対処	23. 心肺蘇生法	6. 食事と健康	12. 現代の感染症	18. 心の健康と自己実現	24. 日常的な応急手当
1. 私たちの健康のすがた	7. 運動と健康	13. 感染症の予防	19. 交通事故の現状と要因																											
2. 健康のとらえ方	8. 休養・睡眠と健康	14. 性感染症・エイズとその予防	20. 交通社会における運転者の資質と責任																											
3. 健康と意志決定・行動選択	9. 喫煙と健康	15. 欲求と適応機制	21. 安全な交通社会づくり																											
4. 健康に関する環境づくり	10. 飲酒と健康	16. 心身の相関とストレス	22. 応急手当の意義とその基本																											
5. 生活習慣病とその予防	11. 薬物乱用と健康	17. ストレスへの対処	23. 心肺蘇生法																											
6. 食事と健康	12. 現代の感染症	18. 心の健康と自己実現	24. 日常的な応急手当																											

英語コミュニケーションⅠ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	3		1	必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	定期考査の他に小テスト、課題への取り組み、ライティング、プレゼンテーション、授業への取り組みを加味して総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	ワークブック、英文法・単語・熟語の教材		¥3,000 程度	ワークブック、英文法・単語・熟語の教材	
受講アドバイス							
内容	<p>○日常的话题について、聞いたり読んだりしたことを理解し、情報や考え方を英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うと共に、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てることを目標とする。中学校で学習した語句に、400語程度の新語を加え、連語は基本的なものを学習する。</p> <p>○英語を聞いたり読んだりして、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点を捉える。</p> <p>○聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見を交換したり、整理して書いたりする。</p>						

論理・表現Ⅰ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	2		1	学校必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	定期考査の他に小テスト、ライティングの提出状況、その他課題への取り組み、授業への取り組みを加味して総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	自校作成プリント、ワークブックなど		¥2,300	ワークブックなど	
受講アドバイス							
内容	<p>○英語の基本的な文法事項を確認しながら、書く力を錬成し、意見や客観的な物事について発信する力を身につける。</p> <p>○日常生活の身近な話題について、情報や考えなどを理解すると同時に、相手に伝えることができるコミュニケーション能力（英語で伝える力）を身につける。</p>						

家庭基礎		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		家庭	2		1	必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○		○	○	
評価	定期考査、レポート、提出物、授業への取組み、出席状況で総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	自校作成プリント		¥2,500 程度	実習材料費等(学年積立金支出)	
受講アドバイス	家庭科は非常に身近な教科です。社会で起きている出来事に関心を持ち、新聞やメディア媒体を通し、国内外のニュースに触れるよう心がけましょう。家庭科に関する内容が多いことに気が付くと思います。						
内容	<p>(1) 人間の健全な発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、高齢者や保育、社会保障に対する問題、家庭経済と社会の関わりについて理解する。</p> <p>(2) 生活を営むために必要な衣食住や消費生活などに関する知識や技術を総合的に身につける。</p> <p>(3) ライフプラン考察や各実習等を通し、パートナーと協力して自分から進んで生活を創造する能力と実践的態度を身につける。</p>						

情報 I		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		情報	2		1	必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○		○	○	
評価	定期考査、レポート、実習・実技、授業への取組み、出席状況等で総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	自校作成教材、準拠問題集、市販のテキスト		¥2,000 程度	準拠問題集、市販のテキスト	
受講アドバイス							
内容	<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>○情報社会の問題解決</p> <p>○コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>○コンピュータとプログラミング</p> <p>○情報通信ネットワークとデータの活用</p>						

キャリアデザイン(産業社会と人間)		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		総合	2		1	必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○		
評価	出席状況・ワークシートの提出、発表内容、授業態度などを総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成ワークシート		¥5,000 程度	自己適性検査、ファイル代、TGG参加費他(学年積立金支出)	
受講アドバイス							
内容	<p>○一個人としての生き方に欠くことのできない基本的な事柄(勤労観等)を理解し、関連する知識を身につける。</p> <p>○現代社会における自己の生き方や在り方を探求し、将来の目標に向かって主体的・能動的に進路選択ができる能力を身につける。</p> <p>○探究的な活動を通じて得た情報をもとに、自分の考えや感想を他人にわかるように発表する能力を身につける。</p> <p>・適性検査 ・社会人、大学生等による講演 ・上級学校訪問 ・2年次受講登録 ・職業人インタビュー ・小論文指導</p> <p>・TOKYO GLOBAL GATEWAY 等</p>						

2. 2年次必修科目

論理国語(2年次)		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		国語	2		2	学校必修	
履修条件	「現代の国語」及び「言語文化」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競り上げ	定期考査	その他
	○				○	○	
評価	定期考査の得点と漢字小テスト、提出物等を点数化した平常点で総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	便覧、漢字問題集、学習課題集		¥1,000程度	学習課題集	
受講アドバイス							
内容	<p>○実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的に考える力を伸ばす。 ・多面的・多角的な視点で自らの考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にした文を書く。 ・漢字テストを実施する。 						

公共		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		公民	2		2	必修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競り上げ	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	課題の設定、レポート、論文、発表、考査などを総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	資料集		¥1,000	資料集	
受講アドバイス							
内容	<p>○現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共の扉 ・自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ・持続可能な社会づくりの主体となる私たち 						

体育(2年次)		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		保健体育	2		2	必修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競り上げ	定期考査	その他
			○				
評価	○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題解決の思考判断・運動技能 ○運動の特性と合理的な行い方と理解と知識 ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○				0		
受講アドバイス							
内容	○体づくり運動、球技、水泳、器械運動、陸上競技、持久走、ダンス等を実施する。						

保健(2年次)		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		保健体育	1		2	必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○	○	
評価	授業の取り組み状況、出席・遅刻状況、定期考査の得点、課題の提出状況を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	教科書準拠ノート		0		
受講アドバイス							
内容	○単元「生涯を通じる健康」 1. 思春期と健康 2. 性意識と性行動の選択 3. 結婚生活と健康 4. 妊娠・出産と健康 5. 家族計画と人工妊娠中絶 6. 加齢と健康			7. 高齢者のための社会的取り組み 8. 保健制度とその活用 9. 医療制度とその活用 10. 医薬品と健康 11. さまざまな保健活動や対策		○単元「社会生活と健康」 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁・土壌汚染と健康 3. 健康被害の防止と環境対策 4. 環境衛生活動のしくみと働き 5. 食品衛生活動のしくみと働き 6. 食品と環境の保健と私たち 7. 働くことと健康 8. 労働災害と健康 9. 健康的な職業生活	

英語コミュニケーションⅡ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	4		2	学校必履修	
履修条件	「英語コミュニケーションⅠ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	定期考査の他に小テスト、課題への取り組み、ライティング、プレゼンテーション、授業への取り組みを加味して総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	ワークブック、文法英単語・熟語の教材		¥1,000程度	ワークブック	
受講アドバイス							
内容	○情報や書き手の意向などを理解する能力をさらに伸ばし、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるため、英語コミュニケーションⅠに700語程度までの新語を加えて学習する。 ○文章を読み必要な情報を得て、概要や要点をまとめたり、書き手の意向を理解しそれについて自分の考えなどをまとめたり伝えるように音読や発表をする。 ○未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用しながら読む。ポイントになる語句や文、段落構成や展開に注意して読む。目的や状況に応じて、速読や精読など適切な読み方をする。						

総合的な探究の時間(2年次)		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		総合的な探究の時間	2		2	必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○		○		
評価	提出物・授業(含む体験活動)の取組・研究成果と発表、出席状況等を総合的に判断し、文章による評価を行う。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	読解力テスト・小論文テスト		¥4,000程度	ファイル代、論述テスト(学年積立金より支出)	
受講アドバイス							
内容	○「人間と社会」領域 地域社会、企業と社会の関わり、人間関係、社会のルール、チームで活動することの意義等をテーマにグループワークを中心として課題を解決する。 ○キャリア教育領域 将来の進路選択に関する学習や調査(3年次課題研究のテーマ決定をふくむ) 科目選択と科目理解						

3. 3年次必履修科目

論理国語(3年次)		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		国語	2		3	学校必履修	
履修条件	「現代の国語」及び「言語文化」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○				○	○	
評価	定期考査の得点と漢字小テスト、提出物等を点数化した平常点で総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	便覧、漢字・語句問題集、学習課題集		¥1,000程度	漢字・語句問題集	
受講アドバイス							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○論理的な文章を読み、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら把握する。 ・論理的な文章や実用的な文を読み、内容・形式について批判的に考える力を伸ばす。 ・論理的な文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ・語句の意味、用法を的確に理解し語彙を豊かにするとともに、文体や修辭などの表現上の特色をとらえる。 ・漢字テストを実施する。 						

体育(3年次)		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		保健体育	3		3	必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
			○				
評価	○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題解決の思考判断・運動技能 ○運動の特性と合理的な行い方と理解と知識 ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○				0		
受講アドバイス							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○体づくり運動、球技、水泳、器械運動、陸上競技、ダンス等を実施する。 ○生涯を通じて運動に関われるよう、種目選択授業を行い、自主的に計画的に授業を実践する。 						

英語コミュニケーションⅢ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	4		3	学校必履修	
履修条件	「英語コミュニケーションⅡ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	定期考査の他に小テスト、課題への取り組み、ライティング、プレゼンテーション、授業への取り組みを加味して総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	ワークブック、速読教材、文法英単語・熟語の教材		¥3,000程度	ワークブック、市販のテキストなど	
受講アドバイス							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○情報や書き手の意向などを理解する能力をさらに伸ばし、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるため、英語コミュニケーションⅡに700語程度までの新語を加えて学習する。 ○文章を読み必要な情報を得て、概要や要点をまとめたり、書き手の意向を理解しそれについて自分の考えなどをまとめたり伝えるように音読や発表をする。 ○未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用しながら読む。ポイントになる語句や文、段落構成や展開に注意して読む。目的や状況に応じて、速読や精読など適切な読み方をする。 						

総合的な探究の時間(3年次)		教科		単位		系列		対象年次		履修区分		
		総合的な探究の時間		2				3		必履修		
履修条件												
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他					
		○	○	○	○							
評価	課題の提出、日頃の学習活動、報告書、発表等を総合的に判断し、文章による評価を行う。 論文作成が中心の科目なので、必ず論文を提出すること。											
教材	教科書	補助教材	教材内訳				教材費概算(除教科書)	教材費内訳				
							0					
受講アドバイス												
内容	<p>○課題研究 ○表現・発表 <内容> 自らの進路や興味関心に合わせた課題を見つけ、探究する活動である。 気付きや発見を大切に、自己実現のために主体的に学び判断し追求する力を身につける。 研究・調査の結果や作品制作から得た結論を論文にまとめる。 プレゼンテーションの仕方を工夫して、研究成果を発表する。 発表を鑑賞し、自らの探究活動の参考にする。</p>											

Ⅲ. 1 年次選択科目

音楽Ⅰ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		芸術	2		1	選択必修	
履修条件	音楽Ⅰ・美術Ⅰ・工芸Ⅰ・書道Ⅰから、必ず1科目を選択すること。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○		○		
評価	実技テスト、授業ノート、鑑賞レポート、課題研究レポートほか・実技を中心として、提出物、出席状況等を総合的に評価する。 (実技 50、授業ノートやレポートなどの提出物 30、出席状況 20)						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○				0		
受講アドバイス	保育・幼児教育、音楽系進学希望者は受講することが望ましい。						
内容	○リズム・メロディー・ハーモニーと音楽に含まれる音楽の三要素を体験的に学び、歌唱・鑑賞・器楽・創作(理論)などの領域を学習しながら、心と体を通して、音楽を楽しむ喜びを味わう。 (歌唱)発声法と歌曲、校歌と簡単な合唱曲、合唱コンクールへ向けての基礎練習、グループボカールアンサンブル等 (鑑賞)クラシック音楽の楽しみ方、西洋音楽と日本音楽 (器楽)ハンドベル、キーボードピアノ、ギター等 (創作・理論)楽譜の読み方&書き方						

美術Ⅰα(美術系進学用)		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		芸術	2		1	選択必修	
履修条件	音楽Ⅰ・美術Ⅰ・工芸Ⅰ・書道Ⅰから、必ず1科目を選択すること。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○		○				
評価	制作の為の工夫・作品の密度や完成度・授業への取り組みを総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	自校作成プリント		¥6,000程度	画用紙、ケント紙、絵具、デッサン用具等	
受講アドバイス							
内容	○美術系進学に対応する基礎力を養成する。 ○デザイン・デッサン・油彩・描画等、美術系全般の基礎力を養成する。 ・デザイン・デッサン・絵画など ・鑑賞						

美術Ⅰβ(一般用)		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		芸術	2		1	選択必修	
履修条件	音楽Ⅰ・美術Ⅰ・工芸Ⅰ・書道Ⅰから、必ず1科目を選択すること。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○		
評価	提出物(作品・課題)・授業の様子・制作の過程・出席状況等を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○		自校作成プリントなど		¥5,000程度	画用紙、アクリル絵の具セット、その他各種素材	
受講アドバイス							
内容	○美術の幅広い素材やテーマの創作活動に触れ、美的体験を豊かにする。 ・平面作品制作・立体作品制作 ・デッサン、スケッチ、クロッキーなど ・展示/鑑賞など						

工芸 I		教科	単位	系列	対象年次	履修区分
		芸術	2		1	選択必履修
履修条件	音楽 I・美術 I・工芸 I・書道 I から、必ず 1 科目選択すること。					
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競り上げ	定期考査
	○		○		○	
評価	提出物(作品・課題)・授業の様子・制作の過程・出席状況等を総合的に判断する。					
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳
	○	○	自校作成教材		¥5,000 程度	木材、籐芯材、ガラス等
受講アドバイス	・粘り強く、丁寧な作業が好きな生徒に向いている。 ・実習費(¥5,000 程度 / 授業で説明)が別途必要					
内容	<p>○作品制作を中心に、表現と鑑賞の両面から工芸について学習する。 粘り強い取り組みと集中力、制作期限を守る意識が必要である。</p> <p>○生活の中にある美しさや機能性を意識し、素材や製品などの加工や工夫を体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材作品制作 ・籐芯材作品制作 ・サンドブラスト作品制作 ・加筆 ・鑑賞 等 					

書道 I		教科	単位	系列	対象年次	履修区分
		芸術	2		1	選択必履修
履修条件	音楽 I・美術 I・工芸 I・書道 I から、必ず 1 科目選択すること。					
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競り上げ	定期考査
	○		○			
評価	提出物(半紙・プリント等)・授業の様子、出席状況等を総合的に判断する。(提出物 70、授業の様子・制作の過程 10、出席状況 20)					
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳
	○		書道用具(各自で用意)		¥2,000 程度	小筆、墨汁・半紙等
受講アドバイス	書道の経験は問いません。書道に興味のある生徒の受講を歓迎します。					
内容	<p>○鑑賞と臨書の両面から、書について学んでいく。(小・中学校書写とは、内容が異なるので注意。)</p> <p>○「漢字仮名交じりの書」「漢字の書」「仮名の書」という 3 つの分野の書を取り上げる。</p> <p>○古典の学習を生かして、作品制作をする。</p> <p>〈古典の学習〉 過去の優れた筆跡を鑑賞することによって、様々な書の良さや美しさを味わう。また、それらを手本として書くことによって、多様な筆使いを身につける。古典の学習を自己の書表現(作品制作)に生かせるようになることも目標にする。</p> <p>〈作品制作〉 古典の学習を生かし、半紙で作品制作をする。作品は文化祭で展示する。</p>					

数学A		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		数学	2	サイエンス・環境	1・2	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○					○	
評価	年間5回の定期考査の得点と平常点(授業に臨む姿勢や課題提出状況等)により評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	問題集		¥500	問題集	
受講アドバイス							
内容	<p>公式に代入するだけではすぐに答を出すことができない、数学的な深い考え方を必要とする分野についての学習をする。主に文章問題を解くことが中心となる。</p> <p>○場合の数と確率 : 集合の要素の個数と数え上げの原則、順列・組合せ、確率の意味と基本的な法則、期待値、独立な試行と確率条件付き確率</p> <p>○図形の性質 : 三角形の性質、円の性質、作図、空間図形、コンピュータの活用</p>						

英語プラス		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	2	国際・文化理解	1	必修選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○		
評価	プレゼンテーション・パラグラフライティング・ロールプレイ・小テスト・授業態度・課題への取り組みをみて、総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	市販のテキスト		¥1,500程度	市販のテキスト	
受講アドバイス	必修の英語コミュニケーションⅠの応用的な内容、発表やライティング活動が中心です。必修の授業よりもレベルは高くなります。英語を頑張りたい、発表やライティングをできるようにしたい、英語が好きでもっと力を伸ばしたいという生徒はぜひ受講してください。						
内容	<p>○日常的な話題について、情報や考え方を英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うと共に、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てることを目標とします。</p> <p>○聞いたり読んだりして得た情報や、自分の考えなどについて意見を交換して、その内容を整理するなどの取り組みをします。</p> <p>○課題をやることでインプットをし、授業でインプットしたことを使用すること(アウトプット)を求められます。</p> <p>○一年生の3学期の英検では、準2級以上を突破できる力を養成していきます。</p>						

ハングルⅠ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	2	国際・文化理解	1	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	定期考査を中心に、課題研究や発表活動や授業への取り組み等(2~3割)を加味して総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販のテキスト、担当者作成教材など		¥2,300	市販のテキスト代。また、国際交流のための費用として教材費とは別に1,500円程度費用がかかる場合があります。	
受講アドバイス							
内容	<p>★高校生のための韓国語検定試験(初級)レベルⅠ取得を目標とします。</p> <p>○発音、基本的な文法事項を含む総合的な授業。</p> <p>○韓国語が全く初めての人に、入門から手ほどきをする。</p> <p>○韓国語の簡単な質問に韓国語で答えられるようにする。</p> <p>○韓国の文化、日常生活などを学ぶ。</p> <p>・ハングルを学習しながら自己紹介をはじめとする簡単な日常生活について韓国語で理解し、表現できるようになる。</p> <p>・簡単な会話集を用いてペアで練習し、覚えた表現を使ってやりとりできるようにする。</p> <p>・クラスメートと良い関係を築き、目標のために積極的に努力し、仲間と共に学び合う姿勢を作る。</p> <p>・韓国語をはじめとする韓国文化に関心を持って、色々なことに気づいたり発見したりしながら、自分の文化や考えなどを客観的にみる能力を身につけることを目指す。</p>						

フランス語Ⅰ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	2	国際・文化理解	1	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他 授業中に試験を実施。
	○	○	○			○	
評価	考査を中心に、小テスト・提出物や授業への取り組み（2～3割）を加味して総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	補助教材、担当者作成の教材		¥2,500 程度		
履修アドバイス	やりたい意欲、自分なりの目標を持ち続けることを強く勧めます。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○発音、基本的な文法事項を含む総合的な授業。 ○フランス語が全く初めての人に、入門から手ほどきをする。 ○フランス語の簡単な質問にフランス語で答えられるようにする。 ○フランスの文化、日常生活などを学ぶ。 						

IV. 2・3年次選択科目一覧

教科	科目名	単位	系列	対象年次	履修区分	履修条件(※備考)
国語	国語表現Ⅰ	2	社・教	2	選択	「現代の国語」及び「言語文化」を履修した者
	国語表現Ⅱ	2	社・教	3	選択	「国語表現Ⅰ」を履修した者
	文学国語Ⅰ	2	社・教	2	選択	「現代の国語」及び「言語文化」を履修した者
	文学国語Ⅱ	2	社・教	3	選択	「文学国語Ⅰ」を履修した者
	現代文演習	2	社・教	3	選択	
	古典探究	4	社・教	2・3	選択	「現代の国語」及び「言語文化」を履修した者
	古典演習	2	社・教	3	選択	「古典探究」を履修した者
地理歴史	世界史探究	4	社・教	2・3	選択	「歴史総合」を履修した者 ※「世界史ゼミ」との同時履修可
	世界史ゼミ	2	社・教	3	選択	「世界史探究」を履修した者（同時履修可）
	日本史探究	4	社・教	2・3	選択	「歴史総合」を履修した者 ※「日本史ゼミ」との同時履修可
	日本史ゼミ	2	社・教	3	選択	「日本史探究」を履修した者（同時履修可）
	地理総合	2	社・教	2・3	必履修	
公民	倫理	2	社・教	3	選択	「公共」を履修した者
	政治・経済	2	社・教	3	選択	「公共」を履修した者
	政治・経済ゼミ	2	社・教	3	選択	「公共」を履修した者、「政治・経済」を同時履修する者
数学	数学Ⅱ	4	サ・環	2	選択	「数学Ⅰ」を履修した者
	数学Ⅲ	4	サ・環	3	選択	「数学Ⅱ」を履修した者
	数学B	2	サ・環	2	選択	「数学Ⅰ」を履修した者
	数学C	2	サ・環	3	選択	「数学Ⅰ」を履修した者
	数学Ⅰ・A演習	2	サ・環	3	選択	「数学Ⅰ」及び「数学A」を履修した者
	数学Ⅱ・B演習	2	サ・環	3	選択	「数学Ⅱ」及び「数学B」を履修した者
理科	科学と人間生活	2	サ・環	2・3	選択必履修	
	物理基礎	2	サ・環	2・3	選択必履修	
	物理	4	サ・環	3	選択	「物理基礎」を履修した者
	物理演習	2	サ・環	3	選択	「物理」を同時履修する者
	化学	4	サ・環	2・3	選択	「化学基礎」を履修した者
	化学演習	2	サ・環	3	選択	「化学」を履修した者（同時履修可）
	生物基礎	2	サ・環	2・3	選択必履修	
	生物	4	サ・環	3	選択	「生物基礎」を履修した者
	生物演習	2	サ・環	3	選択	「生物」を同時履修する者
保健体育	科学と人間生活	2	サ・環	2・3	選択必履修	
	物理基礎	2	サ・環	2・3	選択必履修	
	物理	4	サ・環	3	選択	「物理基礎」を履修した者
	物理演習	2	サ・環	3	選択	「物理」を同時履修する者
	化学	4	サ・環	2・3	選択	「化学基礎」を履修した者
	化学演習	2	サ・環	3	選択	「化学」を履修した者（同時履修可）
	生物基礎	2	サ・環	2・3	選択必履修	
	生物	4	サ・環	3	選択	「生物基礎」を履修した者
	生物演習	2	サ・環	3	選択	「生物」を同時履修する者
体育	トレーニング	2	ライフ	2・3	選択	
	ライフスポーツ	2	ライフ	2・3	選択	
	スポーツ概論	2	ライフ	2・3	選択	
	スポーツⅠ	2	ライフ	3	選択	
	スポーツⅡ	2	ライフ	2・3	選択	
芸術	音楽Ⅱ	2	社・教	2	選択	「音楽Ⅰ」を履修した者
	音楽Ⅲ	2	社・教	3	選択	「音楽Ⅱ」を履修した者
	ピアノⅠ	2	ライフ	2・3	選択	
	ピアノⅡ	2	ライフ	3	選択	「ピアノⅠ」を履修した者
	アンサンブル	2	ライフ	3	選択	
	書道Ⅱ	2	国際	2・3	選択	「書道Ⅰ」を履修した者
	書道Ⅲ	2	国際	3	選択	「書道Ⅱ」を履修した者
美術	素描Ⅰ	4	美・も	2・3	選択	美術系進学希望者
	素描Ⅱ	4	美・も	3	選択	「素描Ⅰ」を履修した者
	絵画Ⅰ	4	美・も	2	選択	美術系進学希望者
	絵画Ⅱ	4	美・も	3	選択	「絵画Ⅰ」を履修した者
	ビジュアルデザインⅠ	4	美・も	2	選択	美術系進学希望者 ※「デザイン基礎」同時履修不可
	ビジュアルデザインⅡ	4	美・も	3	選択	「ビジュアルデザインⅠ」を履修した者 ※「デザイン基礎」同時履修不可

教科	科目名	単位	系列	対象 年次	履修区分	履修条件(※備考)
ものづくり	CAD・マシンクラフトⅠ	2	美・も	2・3	選択	
	CAD・マシンクラフトⅡ	2	美・も	3	選択	「CAD・マシンクラフトⅠ」を履修した者
	ロボット	2	美・も	3	選択	
	コンピュータクラフト・プログラミング	2	美・も	2・3	選択	
	陶芸Ⅰ	2	美・も	2・3	選択	
	陶芸Ⅱ	2	美・も	3	選択	「陶芸Ⅰ」を履修した者
	クラフトA	2	美・も	2・3	選択	「クラフトB」同時履修不可
	クラフトB	2	美・も	2・3	選択	「クラフトA」同時履修不可
	デザイン基礎	2	美・も	2・3	選択	※「ビジュアルデザインⅠ／Ⅱ」同時履修不可
外国語	論理・表現Ⅱ	2	国際	2・3	選択	「論理・表現Ⅰ」を履修した者
	リスニングⅠ	2	国際	2・3	選択	
	リスニングⅡ	2	国際	3	選択	
	スピーキング	2	国際	2・3	選択	
	英語多読入門	2	国際	2・3	選択	
	英語総合演習	2	国際	3	選択	
	英語基礎演習	2	国際	3	選択	
	中国語Ⅰ	2	国際	2・3	選択	
	中国語Ⅱ	2	国際	3	選択	2年次に中国語Ⅰを履修していること
	ハングルⅠ	2	国際	2・3	選択	
	ハングルⅡ	2	国際	2・3	選択	「ハングルⅠ」を履修していることが望ましい
	ハングル応用	2	国際	3	選択	「ハングルⅡ」を履修またはそれと同等以上の語学力を有していることが望ましい
	フランス語Ⅰ	2	国際	2・3	選択	
	フランス語Ⅱ	2	国際	2・3	選択	2年次に「フランス語Ⅰ」を履修していることが望ましい
フランス語応用	2	国際	3	選択	2年次に「フランス語Ⅱ」を履修またはそれと同等以上の語学力を有していることが望ましい	
家庭	保育基礎Ⅰ	2	ライフ	2・3	選択	
	保育基礎Ⅱ	2	ライフ	3	選択	「保育基礎Ⅰ」を履修した者
	フードデザイン	2	ライフ	2・3	選択	
	生活と福祉	2	ライフ	2・3	選択	
	家庭科探究	2	ライフ	2	選択	※家庭科教員に要相談
	ファッション造形基礎	2	ライフ	2	選択	
	服飾手芸	2	ライフ	3	選択	
情報	情報Ⅱ	2	情報	2・3	選択	「情報Ⅰ」を履修した者
	ワープロ	2	情報	2・3	選択	※ワープロ検定1級取得者は履修不可
	表計算応用	2	情報	2・3	選択	
	デジタル映像制作	2	情報	2・3	選択	
	デジタルグラフィックデザインA	2	情報	2・3	選択	
	デジタルグラフィックデザインB	2	情報	2・3	選択	「デジタルグラフィックデザインA」を履修していることが望ましい
	プログラミング入門	2	情報	2・3	選択	
商業	マーケティング	2	社・教	2・3	選択	
	簿記	2	社・教	2・3	選択	
日本の伝統・文化	茶道・華道	2	国際	2・3	選択	
環境	環境科学	2	サ・環	2・3	選択	
ホスピタリティ	手話	2	ライフ	2・3	選択	
	心理学入門	2	社・教	2・3	選択	
	社会参画A	2	社・教	2・3	選択	
	社会参画B	2	社・教	3	選択	社会参画Aの受講後の履修が望ましい。

V. 2・3年次選択科目

国語表現Ⅰ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分
		国語	2	社会・教養	2	選択
履修条件	「現代の国語」及び「言語文化」を履修した者					
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競り上げ	定期考査
	○	○			○	○
評価	小テスト、提出物、発表と出席状況等で総合的に判断する。					
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳
	○	○	市販のテキスト		¥2,500程度	市販のテキスト
履修アドバイス	3年次で国語表現Ⅱを受講する予定の者は、2年次で本講座を履修しておくこと。(国語表現Ⅱとの同時履修不可)					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○国語で適切に表現する能力を養い、伝えあう技能を習得して、進んで表現する態度を育てる。 ・話すこと、書くことの表現のための語彙を習得する。 ・文章の要約に習熟し、情報の収集と整理、文章にまとめる力を養う。 ・目的や場に応じた表現を工夫して発表する。 ・講義主体ではなく、演習が中心の授業形式となっている。 ・毎時間、宿題提出と小テストを実施する。 					

国語表現Ⅱ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分
		国語	2	社会・教養	3	選択
履修条件	「国語表現Ⅰ」を履修した者					
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競り上げ	定期考査
	○	○			○	○
評価	小テスト、提出物、発表と出席状況等で総合的に判断する。					
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳
	○	○	市販のテキスト、漢字・語句問題集		0	問題集は必修科目と兼ねる。
履修アドバイス	2年次で国語表現Ⅰを選択し、履修しておくこと。(国語表現Ⅰとの同時履修不可)					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○国語で適切に表現する能力を養い、思考力を伸ばし、言語感覚を磨き、社会生活を充実させる態度を育てる。 ・豊かな語彙を活用してさまざまな形態に応じた小論文を演習する。 ・大学受験、看護医療、保育等、進路に沿った小論文を書く。 ・原則として毎回、長文(800字以上)の課題が出る。 ・毎時間、小テストを実施する。 					

文学国語Ⅰ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分
		国語	2	社会・教養	2	選択
履修条件	「現代の国語」及び「言語文化」を履修した者					
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競り上げ	定期考査
	○				○	○
評価	定期テスト、小テスト、提出物、発表と出席状況等で総合的に判断する。					
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳
	○	○	漢字問題集、学習課題集		¥1,500程度	漢字問題集、学習課題集
履修アドバイス	3年次で文学国語Ⅱを受講する予定の者は、2年次に履修しておくこと。(文学国語Ⅱとの同時履修不可)					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○国語で適切に表現する能力を育て、思考力を伸ばし、言語感覚を磨き、社会生活を充実させる態度を育てる。 ・言葉の想像や心情を豊かにする働きを理解する。 ・すぐれた表現を味わうとともに、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文学的な文章について人物、情景、心情を的確にとらえ、表現を味わう。 ・毎時間、小テストを実施する。 					

文学国語Ⅱ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		国語	2	社会・教養	3	選択	
履修条件	「文学国語Ⅰ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○				○	○	
評価	定期テスト、小テスト、提出物、発表と出席状況等で総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	漢字問題集、学習課題集		0		
履修アドバイス	2年次で文学国語Ⅰを選択し、履修しておくこと。(文学国語Ⅰとの同時履修不可)						
内容	<p>○国語で適切に表現する能力を育て、思考力を伸ばし、言語感覚を磨き、社会生活を充実させる態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉の想像や心情を豊かにする働きを理解する。 すぐれた表現を味わうとともに、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 文学的な文章について人物、情景、心情を的確にとらえ、表現を味わう。 毎時間、小テストを実施する。 						

現代文演習		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		国語	2	社会・教養	3	選択	
履修条件	なし						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
		○				○	
評価	定期考査の得点と提出物、小テスト、授業態度等を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販のテキスト、自校作成教材		¥1,500程度	市販のテキスト	
履修アドバイス	大学進学希望者のうち、受験科目に現代文がある生徒は履修すること。						
内容	<p>○現代文の授業において学習してきた基礎力を確認し、定着を図り、応用力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの文章に触れ、読解の手法を理解して評論・随筆・小説の読み方に習熟する。 常用漢字の読み書きに習熟して豊かな語彙を獲得する。 大学受験に対応できるよう問題集や過去の入試問題を解く。 						

古典探究		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		国語	4	社会・教養	2・3	選択	
履修条件	「現代の国語」及び「言語文化」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○				○		
評価	定期考査、小テスト、提出物、授業態度等を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	便覧、古文単語集、文法書、文法問題集、学習課題集		¥2,000程度	文法書、文法問題集、学習課題集	
履修アドバイス	3年次に古典演習まで受講する予定の者は、2年次に履修すること。(古典演習との同時履修不可)						
内容	<p>○古文と漢文を読む能力を養い、優れた表現に親しみ人生を豊かにする態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文語文法についてまとまった学習を行い、用いられている語句の意味、用法、文の構造を理解する。 さまざまな文章や作品を扱い、文章や内容を的確にとらえる。 文章に表れた感情や思想を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 						

古典演習		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		国語	2	社会・教養	3	選択	
履修条件	「古典探究」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
		○				○	
評価	定期考査の得点と提出物、小テスト、授業態度等を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販のテキスト、古文単語集、文法書		¥1,000程度	市販のテキスト	
受講アドバイス	2年次で古典探究を選択し、履修しておくこと。(古典探究との同時履修不可)						
内容	<p>○古典の授業において学習してきた基礎力を確認し、定着を図り、応用力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの文章に触れ、読解の手法を理解して随筆・物語・日記の読み方に習熟する。 ・重要古語に習熟して豊かな語彙を獲得する。 ・大学受験に対応できるように問題集や過去の入試問題を解く。 						

世界史探究		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		地理歴史	4	社会・教養	2・3	選択	
履修条件	「歴史総合」を履修した者（「世界史ゼミ」との同時履修も可）						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	定期考査、小テスト、レポート、提出物、発表などを総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	図説		¥900程度		
受講アドバイス	大学受験で世界史探究が必要な人は受講するべき。また、世界の歴史に興味があり、深く研究したい人におすすめ。						
内容	<p>○世界の歴史の大きな枠組みと流れを日本の歴史と関連付けながら取り上げ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察する。</p> <p>例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代文明 ・東アジアと中央ユーラシア（古代中国史） ・南アジアと東南アジア（古代インド史、東南アジア史） ・西アジアと地中海周辺（古代ギリシア・ローマ史） ・西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパ形成（中世ヨーロッパ史・イスラーム史） <p>など古代～中世の分野を取り扱う。</p>						

世界史ゼミ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		地理歴史	2	社会・教養	3	選択	
履修条件	「世界史探究」を履修した者または同時履修の者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○				○	
評価	定期考査、小テスト、提出物などを総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	図説(世界史探究と同じ)、問題集		¥1,000程度	問題集	
受講アドバイス	世界の歴史に強い興味があり、より深く学びたい人におすすめ。大学受験で世界史探究が必要な人向け。						
内容	<p>○ゼミナール形式で進める「世界史探究」の発展的講座である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「世界史探究」で扱えなかった範囲の講義を行う。 ○「世界史探究」の復習小テストや入試問題演習を行う。 ○大学入試も意識した内容である。 ○夏期講習などを実施する場合もある。 						

日本史探究		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		地理歴史	4	社会・教養	2・3	選択	
履修条件	「歴史総合」を履修した者（「日本史ゼミ」との同時履修も可）						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	課題の設定、レポート、論文、発表、考査などを総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	図説		¥1,050	図説、史料集	
受講アドバイス	自ら問いを立てて調査を行い、資料を作成し、発表するため、日本の歴史に興味があり、深く研究したい人におすすめ。大学入試で日本史を受験しようと考えている人は2年次で受講すること。						
内容	<p>○旧石器時代から江戸時代までの範囲を中心に、下記の項目などから問いを立てて探究していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化のあけぼの ・律令国家の形成 ・貴族政治と国風文化 ・中世社会の成立 ・武家社会の成長 ・幕藩体制の確立 ・幕藩体制の展開 ・幕藩体制の動揺 <p>○大学入試も意識するため、夏期講習などを実施する場合がある。</p>						

日本史ゼミ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		地理歴史	2	社会・教養	3	選択	
履修条件	「日本史探究」を履修した者または同時履修の者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	課題の設定、レポート、論文、発表などを総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	図説、史料集		0		
受講アドバイス	日本の歴史に強い興味があり、より深く研究したい人におすすめ。大学入試で日本史を受験する生徒は受講必須。						
内容	<p>○ゼミナール形式で進める「日本史探究」の発展的講座である。日本の歴史について、自らが研究テーマを設定し、1年間をかけて論文を作成する。</p> <p>○明治時代～現代の近代史についても扱う。</p> <p>○大学入試も意識するため、夏期講習などを実施する場合がある。</p>						

地理総合		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		地理歴史	2	社会・教養	2・3	必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	課題の設定、レポート、提出物、発表、考査などから総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	地図帳、資料集、演習ノート		¥3,300程度	地図帳、資料集、演習ノート	
受講アドバイス	特別な事情がないかぎり、2年次での受講を勧める。						
内容	<p>○下記の項目などから、課題追究学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図や地理情報システムで捉える現代世界 ・国際理解と国際協力 ・持続可能な地域づくりと私たち ほか 						

倫理		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		公民	2	社会・教養	3	選択	
履修条件	「公共」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○				○	○	
評価	レポート、論文、発表、考査などを総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	資料集		¥1,000	資料集	
受講アドバイス							
内容	<p>○思想史の略歴</p> <p>○宗教と文化</p> <p>○生命倫理(代理母、胎児診断など)、環境倫理(地球環境問題、エネルギー問題)など現代の課題と倫理</p> <p>資料講読や討論を通じて視野を広げるとともに思考力を培い、また自分の考えを文章や言語で表現する力を養う。</p>						

政治・経済		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		公民	2	社会・教養	3	選択	
履修条件	「公共」を履修した者、「政治・経済ゼミ」を同時履修する者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	レポート、論文、発表、考査などから総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	資料集、演習ノート		¥1,800程度	資料集、演習ノート	
受講アドバイス	政治・経済に強い興味があり、より深く追究したい人におすすめ。						
内容	<p>○「公共」の発展的講座であり、政治・経済全般の知識を深めるための講義・演習を行う。</p> <p>「国会」、「内閣」、「裁判所」、「地方自治」、「株式会社」、「需要と供給」、「金融」、「財政」など、基本的な内容を取り扱う。</p>						

政治・経済ゼミ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		公民	2	社会・教養	3	選択	
履修条件	「公共」を履修した者、「政治・経済」を同時履修する者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	レポート、論文、発表、考査などから総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	資料集、演習ノート		0		
受講アドバイス	「政治・経済」の入試問題演習にきちんと取り組むこと。						
内容	<p>○「政治・経済」の入試問題の演習・解説が中心。</p> <p>「資本主義経済の発展と変容」、「国民所得」、「経済成長率」、「国際経済」、「社会契約説」、「日本国憲法」、「国際政治」など、比較的難易度の高い単元を取り扱う。</p>						

数学Ⅱ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		数学	4	サイエンス・環境	2	選択	
履修条件	「数学Ⅰ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○					○	
評価	年間5回の定期考査の得点と平常点(授業に臨む姿勢や課題提出状況等)により評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	問題集		¥2,000	問題集	
受講アドバイス	理系進学希望者は「数学B」を同時に履修し、3年次に「数学C」を履修することが望ましい。 3年次に「数学Ⅰ・A演習」を履修予定の者は履修することが望ましい。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな式 : 3次の乗法公式と因数分解、多項式の除法と分数式、複素数、解と係数の関係、因数定理・高次方程式等式・不等式の証明 ○図形と方程式 : 内分点・外分点、2点間の距離、直線・円の方程式、軌跡・領域、コンピュータの活用 ○三角関数 : 一般角・弧度法、三角関数のグラフ、基本的な性質、加法定理・合成 ○指数関数・対数関数 : 指数の拡張、指数関数とそのグラフ、対数の意味と基本的な性質、対数関数とそのグラフ、常用対数 ○微分と積分 : 微分係数と導関数、増減、極大・極小、グラフの概形、不定積分と定積分、面積 						

数学Ⅲ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		数学	4	サイエンス・環境	3	選択	
履修条件	「数学Ⅱ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○					○	
評価	考査の得点や平常点(授業に臨む姿勢や課題提出状況等)により評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	問題集		¥1,800	問題集	
受講アドバイス	「数学B」「数学C」の知識も必要となるので、必ず履修しておくこと。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○極限 : 数列の極限、無限級数の収束と発散、無限級数の和、コンピュータの活用 分数関数と無理関数、合成関数と逆関数、関数の値の極限、コンピュータの活用 ○微分法 : 関数の連続性と微分可能性、和・差・積・商の導関数、合成関数の導関数、三角関数・指数関数・対数関数の導関数 接線の方程式、増減、極大・極小、グラフの凹凸、グラフの概形 ○積分法 : 積分とその基本的な性質、置換積分法・部分積分法、面積・体積・曲線の長さ 						

数学B		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		数学	2	サイエンス・環境	2	選択	
履修条件	「数学Ⅰ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○					○	
評価	年間5回の定期考査の得点と平常点(授業に臨む姿勢や課題提出状況等)により評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	問題集		¥1,200	問題集	
受講アドバイス	「数学Ⅲ」、「数学Ⅱ・B演習」履修予定者は必ず履修すること。						
内容	<p>数学はもちろん、物理学、化学、天文学、工学など幅広い分野で使われている数学の分野の学習。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○数列 : 等差数列・等比数列、いろいろな数列、漸化式と数列、数学的帰納法 ○統計的な推測 : 標本調査、確率変数・確率分布、二項分布・正規分布、区間推定・仮説検定、コンピュータの活用 信頼区間、有意水準 						

数学C		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		数学	2	サイエンス・環境	3	選択	
履修条件	「数学I」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競り上げ	定期考査	その他
	○					○	
評価	考査の得点や平常点(授業に臨む姿勢や課題提出状況等)により評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	問題集		¥1,300	問題集	
受講アドバイス	理系進学希望者は「数学III」、「数学II・B演習」も必ず履修すること。 「数学II・B演習」履修予定者は同時に履修することが望ましい。						
内容	<p>数学はもちろん、物理学、化学、天文学、工学など幅広い分野で使われている数学の分野の学習。</p> <p>○ベクトル : 平面ベクトルとその演算、平面ベクトルの内積、空間座標と空間ベクトル</p> <p>○平面上の曲線と複素数平面 : 放物線・楕円・双曲線、媒介変数表示、極座標と極方程式、複素数平面と複素数の極形式 ド・モアブルの定理、コンピュータの活用</p>						

数学I・A演習		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		数学	2	サイエンス・環境	3	選択	
履修条件	「数学I」及び「数学A」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競り上げ	定期考査	その他
	○	○				○	
評価	考査の得点や平常点(授業に臨む姿勢や課題提出状況等)により評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	問題集		¥600	問題集	
受講アドバイス							
内容	○大学入学共通テストなどにも対応できるよう数学I・Aを中心とした問題演習を行う。						

数学II・B演習		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		数学	2	サイエンス・環境	3	選択	
履修条件	「数学II」及び「数学B」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競り上げ	定期考査	その他
	○	○				○	
評価	考査の得点や平常点(授業に臨む姿勢や課題提出状況等)により評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	問題集		¥900	問題集	
受講アドバイス	「数学C」を同時に履修することが望ましい。						
内容	<p>○大学入学共通テストなどにも対応できるよう数学II・Bを中心とした問題演習を行う。</p> <p>○一部「数学C」の内容を扱う場合がある。</p>						

科学と人間生活		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		理科	2	サイエンス・環境	2・3	選択必修修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競り上げ	定期考査	その他
	○			○	○	○	
評価	定期考査・授業への取組・提出物等で総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	問題集		¥700 程度	問題集	
受講アドバイス	文系向けの科目であり、本科目を履修すれば他に理科の選択の必要はなくなる。共通テストの受験科目ではない。理系希望者はとらないこと。						
内容	① 「科学技術の発展」・・・自然科学上の発見から新たな科学技術の開発とそれによって進歩した人間生活の歴史的な過程について ② 「物質の科学」・・・人間生活に不可欠な物質であるプラスチック・金属・繊維・食品について、化学的な構造・性質・人間生活での関連性について ③ 「生命の科学」・・・生物としてのヒトについて、人間生活を取り巻く微生物の特徴とその応用について ④ 「熱や光の科学」・・・エネルギー機関の原理となる物理的なしくみと、エネルギー資源の有効活用、情報伝達の基礎となる電磁波の性質と利用について ⑤ 「地球や宇宙の科学」・・・日本列島の地形ができるしくみと防災や、太陽系を構成する天体とその運動から暦ができるしくみについて						

物理基礎		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		理科	2	サイエンス・環境	2・3	選択必修修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競り上げ	定期考査	その他
	○	○		○		○	
評価	「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	問題集		¥700 程度		
受講アドバイス	理系進学者は数学Ⅱ、数学Bを同時履修することを強く推奨する。						
内容	○以下の分野についての自然界の現象を数式を用いて表せるようにする。 ・物体の運動 (運動の表し方、力、運動の法則) ・エネルギー(運動とエネルギー、熱とエネルギー) ・波(波の性質、音と振動) ・電気(電流、電気の利用) ・人間と物理						

物理		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		理科	4	サイエンス・環境	3	選択	
履修条件	「物理基礎」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競り上げ	定期考査	その他
	○	○		○		○	
評価	「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	問題集		¥1,000 程度	問題集	
受講アドバイス	数学Ⅲ、数学C、物理演習を同時履修することを強く推奨する。物理基礎より格段に難しいので覚悟が必要である。						
内容	○物理基礎の学習をさらに深め、以下の分野について学習する。 ・力と運動(平面上の運動、剛体のつり合い、運動量と力積、単振動、万有引力、気体分子の運動) ・波(波の伝わり方、音、光) ・電気と磁気(電荷と電場、電流と磁場、電磁誘導と電磁波) ・原子(電子と光、原子と原子核)						

物理演習		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		理科	2	サイエンス・環境	3	選択	
履修条件	「物理基礎」を履修した者。「物理」を併修している者。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○				○	
評価	定期考査、レポート、授業態度等を総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	物理基礎、物理の教科書、問題集		¥800程度	問題集	
履修アドバイス	物理履修者は同時履修することを強く推奨する。物理受験者が物理の内容を身に付けるための授業。						
内容	<p>○物理基礎・物理の内容について、基礎の確認と大学入試問題等の演習・解説を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力と運動(直線上の運動、運動方程式、平面上の運動、剛体のつり合い、運動量と力積、単振動、万有引力、気体分子の運動) ・波(波の性質、音と振動、光) ・電気と磁気(電流、電気の利用、電気と磁気、電荷と電場、電流と磁場、電磁誘導と電磁波) ・原子(電子と光、原子と原子核) 						

化学		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		理科	4	サイエンス・環境	2・3	選択	
履修条件	「化学基礎」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○			○		○	
評価	定期考査、授業への取組・提出物等						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	問題集、図説		¥1,800程度		
履修アドバイス	理系大学進学希望者(理工学部、薬学部、農学部、など)対象。内容は化学基礎よりかなり難しいので、毎日の努力が必要である。						
内容	<p>○以下の分野についての学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物質の状態と平衡 ・物質の変化と平衡 ・無機物質 ・有機化合物 ・高分子化合物 						

化学演習		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		理科	2	サイエンス・環境	3	選択	
履修条件	「化学」を履修した者(同時履修も可)						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○		○		○	
評価	定期考査、授業への取組・提出物等						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	化学基礎、化学の教科書、教材、問題集		¥800程度		
履修アドバイス	「化学」を受験科目として用いる生徒を対象とする。						
内容	<p>○化学基礎及び化学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学基礎の教科書の内容を中心とした演習 ・化学の教科書の内容を中心とした演習 <p>以上の内容の基本的な問題から上級学校受験・進学準備に対応した演習を行う。</p>						

生物基礎		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		理科	2	サイエンス・環境	2・3	選択必履修	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○		○		○	
評価	定期考査・授業への取組・提出物等で総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	教科書、図説、問題集		¥1,600 程度	図説、問題集	
受験アドバイス	理学部生物、農学、医療、看護、食物、栄養など生物に関係する進路を志望する者はぜひ履修すること。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○生物の特徴(生物の多様性と共通性、エネルギーと代謝、呼吸と光合成) ○遺伝子とそのはたらき(遺伝情報とDNA、複製と分配、発現) ○ヒトの体内環境の維持(情報伝達と調整、維持のしくみ、免疫のはたらき) ○生物の多様性と生態系(植生と遷移、バイオーム、生態系) 						

生物		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		理科	4	サイエンス・環境	3	選択	
履修条件	「生物基礎」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○		○		○	
評価	定期考査・授業への取組・提出物等で総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	教科書、図説、問題集		¥800 程度	問題集	
受験アドバイス	生物を受験科目とする場合は、生物演習との併修が望ましい。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○生物の進化(生命の起源と生命の進化、遺伝子の変化と多様性、進化のしくみ、生物の系統と分類) ○生命現象と物質(細胞と分子、代謝) ○遺伝情報の発現と発生(遺伝子の発現調節、発生と遺伝子発現、遺伝子を扱う技術) ○生物の環境応答(動物の反応と行動、植物の環境応答) ○生態と環境(生物群集と生態系) 						

生物演習		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		理科	2	サイエンス・環境	3	選択	
履修条件	「生物」を同時履修する者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○		○		○	
評価	定期考査・授業への取組・提出物等で総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	教科書、図説、問題集		¥800 程度	問題集	
受験アドバイス	「生物」を受験科目として用いる生徒を対象とする。						
内容	生物基礎・生物の内容について要点の整理と大学入試等の演習・解説を行う。						

地学基礎		教科	単位	系列	対象年次	履修区分		
		理科	2	サイエンス・環境	2・3	選択必履修		
履修条件								
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・フレ	定期考査	その他	期末試験のみ実施（各学期1回）
	○			○	○	○		
評価	「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する。							
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)		教材費内訳	
	○	○	問題集		¥700 程度		問題集	
受講アドバイス	レポート等の提出物も課されるので、出席と内容理解が必須である。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○以下の分野について学習する。 ・宇宙における地球（宇宙の構成、太陽、太陽系） ・活動する地球（地球の姿、火山活動と地震） ・移り変わる地球（地層や岩石と史実構造、地球環境と生物界の変遷） ・大気と海洋（地球の熱収支、大気と海洋の運動） ・地球の環境（地球の環境、日本の自然環境） 							

トレーニング		教科	単位	系列	対象年次	履修区分		
		保健体育	2	ライフデザイン	2・3	選択		
履修条件								
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・フレ	定期考査	その他	
	○		○		○			
評価	授業の取り組み状況、出席・遅刻状況、授業内テストの得点、レポート、課題の提出状況を総合的に判断する。							
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)		教材費内訳	
		○	『ステップアップ高校スポーツ』		¥1,023		『ステップアップ高校スポーツ』	
受講アドバイス								
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツテスト ○トレーニング論と実技 ○様々なトレーニングの実践 ○競技を通じたトレーニング ○毎学期ペーパーテストを実施する。 							

ライフスポーツ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分		
		保健体育	2	ライフデザイン	2・3	選択		
履修条件								
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・フレ	定期考査	その他	
			○		○			
評価	○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題解決の思考判断・運動技能 ○運動の特性と合理的な行い方と理解と知識 ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する。							
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)		教材費内訳	
		○	『ステップアップ高校スポーツ』		¥1,023		『ステップアップ高校スポーツ』	
受講アドバイス	普段の体育で行わないニュースポーツを行いたい生徒は受講することが望ましい。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたってスポーツを継続するために、ライフスタイルに応じたスポーツの関わり方を見つけることをねらいとする。 ○目的に応じた心身の調整、交流を深めるための運動の仕方の理解と実践。 ○ニュースポーツ（アテット、インディアカ、バードゴルフ、フリスビー等）を含め、体力を向上させる種目を取り入れる。 ○基本的に普段行う球技や個人種目は行わない。 ○ニュースポーツの開発、指導を行う。 							

スポーツ概論		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		体育	2	ライフデザイン	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○		
評価	授業の取り組み状況、出席・遅刻状況、授業内テストの得点、模擬授業・実技試験の得点、レポート課題の提出状況を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	『ステップアップ高校スポーツ』		¥1,023	『ステップアップ高校スポーツ』	
受講アドバイス	体育大学など、体育系進学希望者は受講することが望ましい。						
内容	<p>○社会の変化の中で体育・スポーツの果たす意義を踏まえるとともに、運動の合理的な実践と運営に役立つこと、健康の増進や体力の向上に役立つことを中心にして6項目で構成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化と体育・スポーツ ・運動技能の構造と運動の学び方 ・体ほぐしの意義と行い方 ・体カトレーニングの内容と行い方 ・運動と安全 <p>・体育・スポーツの運営管理</p>						

スポーツⅠ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		体育	2	ライフデザイン	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
			○				
評価	○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題解決の思考判断・運動技能 ○運動の特性と合理的な行い方と理解と知識 ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	『ステップアップ高校スポーツ』		¥1,023	『ステップアップ高校スポーツ』	
受講アドバイス	体育大学など、体育系進学希望者は受講することが望ましい。						
内容	個人種目である水泳・体操競技・陸上競技をおこなう分野である。実施種目は時期および施設の関係を検討し保健体育科で決める。体操競技についてはマット運動を主に、跳び箱運動もおこなう。						

スポーツⅡ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		体育	2	ライフデザイン	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
			○				
評価	○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題解決の思考判断・運動技能 ○運動の特性と合理的な行い方と理解と知識 ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	『ステップアップ高校スポーツ』		¥1,023	『ステップアップ高校スポーツ』	
受講アドバイス	体育大学など、体育系進学希望者は受講することが望ましい。						
内容	球技種目から選択し、年間を通じて実技・理論を学習する。なお、種目の選択については、施設・総人数・男女別人数等を考慮しながら保健体育科で検討する。						

スポーツⅢ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		体育	2	ライフデザイン	3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレ	定期考査	その他
			○				
評価	○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題解決の思考判断・運動技能 ○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	『ステップアップ高校スポーツ』		¥1,023 ¥5,000程度	『ステップアップ高校スポーツ』 柔道衣代	
受講アドバイス	体育大学など、体育系進学希望者は受講することが望ましい。						
内容	○柔道・剣道等の武道 柔道の基本的動作と对人的技能を身につけ試合や審判が出来るように学習する。 柔道着を購入する必要がある。						

スポーツⅣ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		体育	2	ライフデザイン	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレ	定期考査	その他
			○		○		
評価	○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題解決の思考判断・運動技能 ○運動の特性と合理的な行い方と理解と知識 ○模擬授業・実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	『ステップアップ高校スポーツ』		¥1,023	『ステップアップ高校スポーツ』	
受講アドバイス	体育大学など、体育系進学希望者は受講することが望ましい。						
内容	○ダンス創作活動…多様なテーマから表現にふさわしいテーマを選び、集団で様々に変化をつけ見る人に伝えることをねらいとする。 ○フォークダンス…西洋・民舞など特徴をとらえ伝承されてきたものを学ぶ。 ○現代的なリズムのダンス…ロックやヒップホップのリズムの特徴をとらえ、仲間と色々な対応をして踊ることをねらいとする。 ○その他…ヨガなど全身を使い体幹部を鍛えることをねらいとする。						

音楽Ⅱ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		芸術	2	社会・教養	2	選択	
履修条件	「音楽Ⅰ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレ	定期考査	その他
	○		○		○		
評価	・実技テスト、授業ノート、鑑賞レポート、課題研究レポートほか ・実技を中心として、提出物、出席状況等を総合的に評価する。(実技50、授業の様子やレポートなどの提出物40、出席状況10)						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○				0		
受講アドバイス	保育・幼児教育、音楽系進学希望者は受講することが望ましい。						
内容	○リズム・メロディー・ハーモニーと音楽に含まれる音楽の三要素を体験的に学び、歌唱・鑑賞・器楽・創作(理論)などの領域を学習しながら、心と体を通して、音楽を楽しむ歓びを味わう。 ・(歌唱) 合唱、斉唱(外国語での歌唱含む)ほか ・(鑑賞) 西洋音楽史(バロック、古典派、ロマン派、近現代) および劇と音楽 ・(器楽) 器楽(合奏)、和楽器(箏) ・(創作・理論) 楽譜の読み方と書き方、コードネーム ・(その他) 簡単なソルフェージュ(聴音と視唱)						

音楽Ⅲ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		芸術	2	社会・教養	3	選択	
履修条件	「音楽Ⅱ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○		○		
評価	・実技テスト、授業ノート、鑑賞レポート、課題研究レポートほか ・実技を中心として、提出物、出席状況等を総合的に評価する。(実技 50、授業の様子やレポートなどの提出物 40、出席状況 10)						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○				0		
受講アドバイス	音楽大学など音楽系進学希望者は受講することが望ましい。						
内容	○音楽Ⅰと音楽Ⅱにおいて学習した歌唱・鑑賞・器楽・創作(理論)の領域を発展的に学習し、実技の個人発表や研究課題に取り組む。 ・(歌唱) 芸術歌曲、合唱 ・(鑑賞) 西洋音楽史(交響曲・管弦楽曲・歌劇など中心とした楽曲研究を含む)およびミュージカルの世界 ・(器楽) 器楽合奏 ・(その他) 音楽大学・音楽系進学対応のソルフェージュ(聴音と視唱)や楽典(音楽理論)の学習、創作						

ピアノⅠ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		芸術	2	ライフデザイン	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○		○		
評価	各自の学習進度表の達成度や実技テスト(発表会形式)を必須として、提出物、出席状況等を総合的に評価する。(実技 70、授業の様子や提出物 20、出席状況 10)						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	ピアノ楽譜		¥1,800程度	ピアノ基礎用楽譜を一括で購入	
受講アドバイス	保育・幼児教育、音楽系進学希望者は受講することが望ましい。						
内容	○主にキーボード(鍵盤)の演奏技術の基礎技能の習得と実技演習。 幼児教育・保育系進学希望者、音楽大学や音楽系進学希望者を対象として、自らの将来に役立つピアノ演奏やキーボード(鍵盤)演奏ができるように、初歩から学習していきながら、楽曲の演奏のほか、簡単なコード伴奏ができるようになることを目標とする。						

ピアノⅡ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		芸術	2	ライフデザイン	3	選択	
履修条件	「ピアノⅠ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○		○		
評価	各自の学習進度表の達成度や実技テスト(発表会形式)を必須として、提出物、出席状況等を総合的に評価する。(実技 80、提出物 10、出席状況 10)						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	ピアノ楽譜		0	「ピアノⅠ」の楽譜を継続使用	
受講アドバイス	保育・幼児教育、音楽系進学希望者は受講することが望ましい。						
内容	○主にキーボード(鍵盤)の演奏技術の基礎技能の習得と実技演習。 幼児教育・保育系進学希望者、音楽大学や音楽系進学希望者を対象として、自らの将来に役立つピアノ演奏やキーボード(鍵盤)演奏ができるように、初歩から学習していきながら、楽曲の演奏のほか、簡単なコード伴奏ができるようになることを目標とする。 ○コード進行を学習し、伴奏付けを行う。						

アンサンブル		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		芸術	2	ライフデザイン	3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○		
評価	授業・鑑賞・課題研究レポートなどの提出物、出席状況等を総合的に評価する。 (実技 50、授業の様子やレポートなどの提出物 40、出席状況 10)						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		0		
備考	保育・幼児教育系進学希望者の進路に関係する。						
内容	○保育・幼児教育系の教育合奏やハンドベルなどのアンサンブルを学習する。 ○リズム創作による身体表現を学ぶ。 ○アンサンブル発表への取組みを通し、互いに協力し音楽を創り上げる力を養う。						

書道Ⅱ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		芸術	2	国際・文化理解	2・3	選択	
履修条件	「書道Ⅰ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○				
評価	提出物(半紙・プリント等)・授業の様子、出席状況等を総合的に判断する。(提出物 70、授業の様子・制作の過程 10、出席状況 20)						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○		書道用具(各自で用意)		¥2,000 程度	墨汁・半紙・画仙紙・印材等	
備考	書道Ⅰの成績に関わらず、書道が好きな生徒の受講を歓迎します。書道学科等に進学を希望する生徒は、受講することが望ましい。						
内容	○書道Ⅰの学習をもとに、鑑賞と臨書の両面から書について学ぶ。 ○古典の学習を生かして、作品制作をする。 (古典の学習) 書道Ⅱでは、新たに「草書」「篆書」という書体を学ぶ。書道Ⅰで学んだ書体についても適宜取り上げ、さらに詳しく学んでいく。古い書体を学ぶため、書道Ⅰよりも書道史にふれる機会が多くなる。 (篆刻) 自分の姓名を篆書で石に刻す。 (作品制作) 古典の学習を生かし、画仙紙を使った作品制作をする。作品は文化祭で展示する。						

書道Ⅲ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		芸術	2	国際・文化理解	3	選択	
履修条件	「書道Ⅱ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○				
評価	提出物(半紙・プリント等)・授業の様子、出席状況等を総合的に判断する。(提出物 70、授業の様子・制作の過程 10、出席状況 20)						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○		書道用具(各自で用意)		¥1,500 程度	墨汁・半紙・画仙紙・刻字用材等	
備考	内容は高度になりますが、書道が好きな生徒の受講を歓迎します。書道学科等に進学を希望する生徒は、受講することが望ましい。						
内容	○書道Ⅰ・Ⅱで学んだことをさらに深めながら、鑑賞と臨書の両面から書について学んでいく。 (古典の学習) 書道Ⅰ・Ⅱで学んだ各書体を学ぶが、より多様な古典を鑑賞・臨書する。 (作品制作) 画仙紙や仮名用の料紙を使って作品制作をする。各自好きな分野を選択し、個々に課題を決めて作品制作をする。制作した作品は文化祭で展示する。 (刻字) 自分の書を木などに彫刻刀で刻す。						

素描Ⅰ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		美術	4	美術・ものづくり	2・3	選択	
履修条件	美術系進学を希望する生徒に限る。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○		
評価	制作の工夫、作品の密度や完成度、授業への取り組みを総合的に判断する。(制作の工夫 10、作品の密度 40、完成度 40、取り組み 10)						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		¥4,000 程度	鉛筆、ねりゴム、画用紙、スケッチブック等	
履修アドバイス	・美術系進学希望者に対応する科目である。履修を希望する者は、美術科教員に相談すること。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○造形表現の基礎となる観察力や把握力、表現力を身につける。 ・静物デッサン(鉛筆・木炭) ・石膏デッサン ・スケッチ・クロッキー ・表現材料(コンテなど) ・鑑賞 						

素描Ⅱ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		美術	4	美術・ものづくり	3	選択	
履修条件	「素描Ⅰ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○		
評価	提出物(作品・課題)・授業の様子・制作の過程・出席状況等を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		¥3,000 程度	鉛筆、ねりゴム、画用紙等	
履修アドバイス	・美術系進学希望者に対応する科目である。上級者しかいないと思ってよい。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○「素描Ⅰ」で学習した内容を発展し、美術系進学に対応した実践的なデッサンを行う。 理論をもとにした形状把握、空間把握を行い、感性表現としての作品制作を目指す。 ・デッサン(鉛筆・木炭) ・スケッチ・クロッキー ・表現素材研究 ○デザイン系、絵画系の2つの講座に分かれ、それぞれの進路に対応した内容の実習を行う。 						

絵画Ⅰ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		美術	4	美術・ものづくり	2	選択	
履修条件	美術系進学を希望する生徒に限る。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○		
評価	提出物(作品・課題)・授業の様子・制作の過程・出席状況等を総合的に判断する。美術科教員に必ず相談すること。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		¥9,000 程度	キャンバス、筆、画用紙等。 教材費とは別に各自制作のための準備(画材など授業で説明)が必要。油絵の具セットが別途必要。	
履修アドバイス	・美術系進学希望者に対応する科目である。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○絵画表現について、作品制作と鑑賞の両面から学習する。 いろいろな絵画の表現方法や素材の特性を学び、創意工夫した作品制作を行う。 ・絵画材料や用具 ・油彩画、水彩画 ・その他の絵画 ・鑑賞 						

絵画Ⅱ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		美術	4	美術・ものづくり	3	選択	
履修条件	「絵画Ⅰ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○		
評価	提出物(作品・課題)・授業の様子・制作の過程・出席状況等を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		¥9,500 程度	キャンバス、画用紙等。教材費とは別に各自制作のための準備(画材など授業で説明)が必要。油絵の具、もしくは日本画用水彩絵の具セットが別途必要。	
履修アドバイス	・美術系進学希望者に対応する科目である。						
内容	○「絵画Ⅰ」で学習した内容を発展し、より創造的な作品制作を行う。 ものごとの美しさや空間把握など、造形上の表現力と独創的な工夫について追究する。 ・油彩、水彩等の制作 ・鑑賞						

ビジュアルデザインⅠ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		美術	4	美術・ものづくり	2	選択	
履修条件	美術系進学を希望する生徒に限る。「デザイン基礎」と同時に履修は出来ない。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○		
評価	制作の為の工夫・作品の密度や完成度・授業への取り組みを総合的に判断する。(制作の工夫10・作品の密度40・完成度40・取り組み10)						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	美術Ⅰ教科書		¥7,000 程度	アクリルガッシュ、用具、ケント紙、鉛筆等。 教材費とは別に各自制作のための準備(教材など授業で説明)が必要。	
履修アドバイス	・美術系進学希望者に対応する科目である。美術科教員に必ず相談すること。						
内容	○平面構成(明度計画・リピテーション・受験対応平面構成2点) ○立体構成(プロダクト系立体制作・ケント紙を使った立体構成) ○仮想会社のトータルプロデュース(平面構成・立体構成を実際のデザインで活用する) ・会社の理念・ロゴマーク・デザインコンセプトについてのプレゼンテーション ・商品見本づくり ・店舗展開プレゼンボード						

ビジュアルデザインⅡ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		美術	4	美術・ものづくり	3	選択	
履修条件	「ビジュアルデザインⅠ」を履修した者。「デザイン基礎」と同時に履修は出来ない。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○		
評価	提出物(作品・課題)・授業の様子・制作の過程・出席状況等を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		¥5,000 程度	個人が使う画材等	
履修アドバイス	・美術系進路希望者に対応する科目である。						
内容	○「ビジュアルデザインⅠ」で学習した内容を発展し、美術系進学のための作品制作を行う。 デザイン系の進学のために必要なスキルを身に付けるための作品を数多く制作する。 ○主にアクリルガッシュでの平面制作を行う。						

CAD・マシクラフトⅠ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		ものづくり	2	美術・ものづくり	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
			○				
評価	作品などの提出物およびレポート(70)、授業の取り組み方や出席状況(30)等総合的に評価を行う。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		¥3,000程度	木材、アクリル板、真鍮棒等	
受講アドバイス	実技のみの授業となるため遅刻・欠席をしない者。遅刻した者は授業に参加させません。欠席した場合は、登校した日に必ず担当教員の所へ行くこと。また、危険な工作機械及び高温の炎を取り扱うため、覚悟の無い者は履修しないように。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○CAD製図技術及び加工技術を学ぶ。 ・CAD/CAMによる作品(レーザー加工機、三次元加工機)製作 ○機械加工技術及び安全な操作方法を学ぶ。 ・旋盤やガス溶接による作品製作 						

CAD・マシクラフトⅡ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		ものづくり	2	美術・ものづくり	3	選択	
履修条件	「CADⅠ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
			○				
評価	作品などの提出物およびレポート(70)、授業の取り組み方や出席状況(30)等総合的に評価を行う。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		¥3,000程度	木材、アクリル板、真鍮棒等	
受講アドバイス	CAD・マシクラフトⅠより発展的な作業を行う。それに伴い、危険度も増すため、遅刻・欠席は厳禁。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○CADⅠで学習した技術を活用し、より高度なCAD製図技術及び加工技術を学ぶ。 ・CAD/CAMによる作品製作 ○CADⅠでは行わなかった機械加工を行い、より高度な機械加工技術及び安全な操作方法を学ぶ。 ・フライス盤やアーク溶接による作品製作 						

ロボット		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		ものづくり	2	美術・ものづくり	3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
			○				
評価	作品などの提出物およびレポート(70)、授業の取り組み方や出席状況(30)等総合的に評価を行う。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		¥3,000程度	電子部品等	
受講アドバイス	実技のみの授業となるため、遅刻・欠席をしない者。欠席した場合は、登校した日に必ず担当教員の所へ行くこと。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○組み込みコンピュータの仕組み及び初歩のプログラミング技術を学ぶ。 ・自走ロボット製作 <ul style="list-style-type: none"> -基板制作 -ボディ製作 ・ロボットの組み立て ・制御プログラミングの構築 -作品テーマは変更する場合あり- 						

コンピュータクラフト・プログラミング		教科		単位	系列	対象年次	履修区分
		ものづくり		2	美術・ものづくり	2・3	選択
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
			○				
評価	作品などの提出物およびレポート(70)、授業の取り組み方や出席状況(30)等総合的に評価を行う。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		¥3,000程度	組込コンピュータ、木材、アクリル板等の材料費	
受講アドバイス	実技のみの授業となるため、遅刻・欠席をしない者。欠席した場合は、登校した日に必ず担当教員の所へ行くこと。						
内容	<p>○コンピュータ (Adobe Illustrator 等) を使用してクラフト作品を制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル缶バッジの製作 <p>○光の点滅や音階の制御を通して、プログラミングを学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イルミネーションの製作 (LED 点滅パターンの制御) ・電子オルゴールの製作 (ドレミファソラシドの音階の制御) 						

陶芸Ⅰ		教科		単位	系列	対象年次	履修区分
		ものづくり		2	美術・ものづくり	2・3	選択
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○				
評価	提出物(作品、課題)、授業の様子、制作の過程、出席状況等を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		¥4,000程度	材料費	
受講アドバイス							
内容	<p>○陶芸の作品制作からものづくりの良さや楽しさを味わう。</p> <p>○陶芸の技法と技術、釉薬についての知識と工夫を学び、創意工夫ある作品制作を行う。</p> <p>○実技を伴う作業が中心であり、素焼き本焼きを必要とするため、欠席せず集中して取り組み、提出期限厳守。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶芸の基礎(陶土・釉薬・道具と技法) ・作品制作(ひもづくり・たたらづくり) ・展示/鑑賞など 						

陶芸Ⅱ		教科		単位	系列	対象年次	履修区分
		ものづくり		2	美術・ものづくり	3	選択
履修条件	「陶芸Ⅰ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○		
評価	提出物(作品、課題)、授業の様子、制作の過程、出席状況等を総合的に判断。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		¥4,000程度	陶土、釉薬等	
受講アドバイス	・2年次で「陶芸Ⅰ」を履修した生徒が履修できる。						
内容	<p>○「陶芸Ⅰ」で学習した内容を発展し、より創造的な作品制作を行う。</p> <p>美しさや機能性など、造形活動の意義と表現について理解し創意工夫した作品制作を行う。</p> <p>実技を伴う作業が中心であり、素焼き本焼きを必要とするため、欠席せず集中して取り組み、提出期限を守ることが条件である。</p> <p>授業を休んだ場合は、当日か翌日に必ず居残って制作をすること。作品乾燥時間が必要なため遅れ提出は認めない。</p> <p>作品が未提出、未完成の場合は評価しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶芸の基礎(陶土・釉薬・道具と技法) ・機能やデザイン性を意識した作品制作 ・技術を活かした作品制作(ろくろ) ・目的や使用方法を意識した作品制作 ・自由制作・鑑賞 						

クラフトA		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		ものづくり	2	美術・ものづくり	2・3	選択	
履修条件	「クラフトB」との同時履修は認めない。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○		
評価	提出物(作品・課題)、授業の様子、制作の過程、出席状況等を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		¥6,000程度	革、七宝焼等	
受講アドバイス	・上記教材費の他に、実習着が必要。						
内容	<p>○レーザークラフトや七宝等様々な素材の特性や加工について、作品制作を通して学習する。</p> <p>○細かい作業を要する制作が多いため、粘り強い制作への姿勢と集中力・提出期限を守る意識がなければ厳しい。</p>						

クラフトB		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		ものづくり	2	美術・ものづくり	2・3	選択	
履修条件	「クラフトA」との同時履修は認めない。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○		
評価	提出物(作品・課題)、授業の様子、制作の過程、出席状況等を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		¥5,000程度	木材、金属	
受講アドバイス	・上記教材費の他に、実習着が必要。						
内容	<p>○金属や木を使った作品の制作を行う。</p> <p>○細かい作業を要する制作が多く時間がかかるため、粘り強い制作への姿勢と集中力・提出期限を守る意識がなければ厳しい。</p>						

デザイン基礎		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		ものづくり	2	美術・ものづくり	2・3	選択	
履修条件	「ビジュアルデザインⅠ/Ⅱ」と同時に履修することはできない。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○		
評価	提出物(作品・課題)、授業の様子、制作の過程、出席状況等を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		¥5,000程度	アクリルカラーセット、ケント紙等	
受講アドバイス	デザイン系進学希望者は2年次で「ビジュアルデザインⅠ」を履修すること。						
内容	<p>○「美術Ⅰ」の学習をもとに、より発展的な作品制作を行う。</p> <p>○粘り強い取り組みと集中力が必要である。制作期限の提出厳守。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインの基礎(色彩・構成・表現方法) ・平面作品制作・立体作品制作 ・展示/鑑賞等 						

論理・表現Ⅱ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	2	国際・文化理解	2	選択	
履修条件	「論理・表現Ⅰ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	定期考査に小テスト、プリントの提出状況、授業への取り組みを加味して総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	自校作成プリント、ワークブックなど		¥1,800	ワークブック、市販のテキストなど	
履修アドバイス	大学受験を目指し、積極的に英語力の向上を目指す者が望ましい。						
内容	<p>○論理・表現Ⅰで学習した内容をさらに発展的に学習していく。</p> <p>○英語の基本的な文法事項を徹底的に身につけると共に、英作文につながる発展的な発信能力を身に付ける。</p> <p>○日常生活の身近な話題について、情報や考えなどを理解すると同時に、スピーチやプレゼンテーションにつながる英語力を鍛える。</p>						

リスニングⅠ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	2	国際・文化理解	2・3	選択	
履修条件	CEFER A1 レベル（英検 3 級～準 2 級）相当のリスニング力を身に付けていることが望ましい。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○		
評価	問題の解答状況、提出物、発表活動、授業への取り組み等を加味して、総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販のテキスト、その他		¥2,000 程度	市販のテキスト	
履修アドバイス	外部検定、共通テストの受験を考えている生徒が望ましい。						
内容	<p>○日常生活や身近な事柄において標準的な情報の要点を理解し、能動的に聞く力をつける。</p> <p>○自分のことについての現状を相手に伝えることができるよう、様々な種類の英文の聞き取り、音読などを取り入れ聞く力を錬成する。</p> <p>○CEFER の目標レベル A2（英検準 2 級～2 級）を目指す。</p>						

リスニングⅡ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	2	国際・文化理解	3	選択	
履修条件	「リスニングⅠ」を履修していることが望ましい。また、CEFER A2 レベル（英検準 2 級から 2 級）相当のリスニング力を身に付けていることが望ましい。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○		
評価	問題の解答状況、提出物、発表活動、授業への取り組みを加味して、総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販のテキスト、その他		¥2,000 程度	市販のテキスト	
履修アドバイス	外部検定、共通テストを受験する生徒が望ましい。						
内容	<p>○仕事、学校や遊びの場面で頻繁に経験する身近な事柄において標準的な情報の要点を理解し、能動的に聞く力をつける。</p> <p>○リスニングⅠの発展的な内容として現実的な場面の英語を理解し、自分の意見を加えることができるよう、様々な種類の英文の聞き取り、音読などを取り入れ聞く力を錬成する。</p> <p>○CEFER の目標レベル B1（2 級～準 1 級）を目指す。</p>						

スピーキング		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	2	国際・文化理解	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	授業内テストを中心にグループワークや課題、発表など平常活動を総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販のテキスト、その他		¥1,200	市販のテキスト	
受講アドバイス							
内容	<p>○海外留学する際に必要な会話を、飛行機の中から始まり、入国審査等、場面ごとに練習する。</p> <p>○トピック(趣味・将来の夢・食べ物等)に応じて自分の考えを簡潔に述べられるようにする。</p> <p>○リスニング・スピーキングの力を高め、個人またはグループでスピーチやプレゼンテーションを行う。</p>						

英語多読入門		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	2	国際・文化理解	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
			○		○		
評価	読書記録の提出、作品提出、授業内プレゼンテーションの他、授業への取り組みを加味して総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	多読用洋書		0		
受講アドバイス	超初級～上級者まで、多様なレベルの英語学習者のニーズに応えます。日本語を介さず、英語に楽しく触れながら学んでいきます。						
内容	<p>○文法や新出単語等についての説明は一切行わず、学習者自身が自分の興味ある分野・テーマの本を手に取り、各自で学習を行う。</p> <p>上級者もまずは易しい英文に触れ、自分自身で徐々にレベルをあげて調整していく。</p> <p>○自分の気に入った本を他者に紹介するプレゼンテーション活動を定期的実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10万語多読を目指し、初見の英文に対しても既習の単語や物語の内容に関する背景知識等を活用し、推測しながら読む力を高める。 ・英文を文頭から順に読んで理解する力を養う。 ・辞書を引かずに未知語を推測する力を養う。 ・速読力を高めることをねらいとし、様々な分野・テーマの物語に数多く触れ、瞬間的に内容語を捉える力を鍛える。 ・ネイティブによる本の朗読(肉声・音声)を聴き、英語の語順のまま理解する習慣を身につける。 						

英語総合演習		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	2	国際・文化理解	3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○				○	
評価	定期考査の他に小テスト、授業への取り組みを加味して、総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販のテキスト		¥2,000程度	市販のテキスト	
受講アドバイス	大学受験を意識した、ハイレベルな問題に取り組みます。						
内容	<p>○英語の知識や技能だけでなく、語学を通じ、思考力、判断力、表現力を4技能を意識して身に付け、大学入試問題に対応できるようにする。</p> <p>○大学受験に必要な「語彙」、「文法事項」、「読解力」の習得を目指し、演習を通して応用力を身につけていく。</p>						

英語基礎演習		教科		単位	系列	対象年次	履修区分
		外国語		2	国際・文化理解	3	選択
履修条件							
授業形態	講義	演習	習熟	実験	競争力	定期考査	その他
	○	○				○	
評価	定期考査のほかに小テスト、提出物、授業への取り組みを加味して、総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販のテキスト		¥2,000 程度	市販のテキスト	
受講アドバイス	大学の一般受験を考えていて、積極的に英語力の向上を目指す生徒が望ましい。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○大学入試に必要な文法・語法・英作文など基本的な文法事項を身につける。 ○大学入試問題に向けて、実践的な問題演習を行う。 						

中国語Ⅰ		教科		単位	系列	対象年次	履修区分
		外国語		2	国際・文化理解	2・3	選択
履修条件							
授業形態	講義	演習	習熟	実験	競争力	定期考査	その他
	○	○	○			○	
評価	定期考査を中心に、課題研究や発表活動や授業への取り組み等（2～3割）を加味して総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販テキスト、担当者作成の教材など		¥2,000 程度		
受講アドバイス							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○中国語が全く初めての人を対象に、入門から手ほどきをする。 ○発音を基礎から学び、会話中心の練習をする。 ○基本的な文法事項を学ぶ。 ○中国語の簡単な質問に、中国語で答えられるようにする。 						

中国語Ⅱ		教科		単位	系列	対象年次	履修区分
		外国語		2	国際・文化理解	3	選択
履修条件	2年次に中国語Ⅰを履修していること。						
授業形態	講義	演習	習熟	実験	競争力	定期考査	その他
	○	○	○		○	○	
評価	定期考査を中心に、課題研究や発表活動や授業への取り組み等を加味して総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販テキスト、担当者作成の教材など		¥0		
受講アドバイス							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○中国語初級内容に加え、より具体的な表現や意味を理解できるようにする。 ○基礎から学んだ発音を元に、会話を発展させ、自分の意見を述べられるようにする。 ○複雑な文法事項を学び、理解できるよう演習を行う。 ○中国語の日常的な質問に、中国語で答えられるようにする。 						

ハングルⅠ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	2	国際・文化理解	1・2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○			○	○	
評価	定期考査を中心に、課題研究や発表活動や授業への取り組み等を加味して総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販のテキスト、担当者作成教材など		¥2,300	市販のテキスト代。また、国際交流のための費用として教材費とは別に1,500円程度費用がかかる場合があります。	
受講アドバイス							
内容	<p>★高校生のための韓国語検定試験（初級）レベルⅠ取得を目標にします。</p> <p>○発音、基本的な文法事項を含む総合的な授業。</p> <p>○韓国語が全く初めての人の、入門から手ほどきをする。</p> <p>○韓国語の簡単な質問に韓国語で答えられるようにする。</p> <p>○韓国の文化、日常生活などを学ぶ。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・ハングルを学習しながら自己紹介をはじめとする簡単な日常生活について韓国語で理解し、表現できるようになる。 ・簡単な会話集を用いてペアで練習し、覚えた表現を使ってやりとりできるようにする。 ・クラスメートと良い関係を築き、目標のために積極的に努力し、仲間と共に学び合う姿勢を作る。 ・韓国語をはじめとする韓国文化に関心を持って、色々なことに気づいたり発見したりしながら、自分の文化や考え方を客観的にみる能力を身につけることを目指す。 			

ハングルⅡ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	2	国際・文化理解	2・3	選択	
履修条件	「ハングルⅠ」を履修していることが望ましい。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○		○	○	
評価	定期考査を中心に、課題研究や発表活動や授業への取り組み等を加味して総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販のテキスト、担当者作成教材など		¥2,600	市販のテキスト代。また、国際交流のための費用として教材費とは別に1,500円程度費用がかかる場合があります。	
受講アドバイス							
内容	<p>○発音、基本的な文法事項を含む総合的な授業。</p> <p>○ハングル初級内容に加え、より具体的な表現を学ぶ。</p> <p>○韓国語の日常的な会話、質問に韓国語で答えられるようにする。</p> <p>○韓国の文化、日常生活などをより深く学ぶ。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・ハングルを学習しながら日常会話からさらに趣味や自分の意見などを伝えられるようにする。 ・スピーチコンテストへの出場を課題とし、入賞を目指す。 ・クラスメートと良い関係を築き、目標のために積極的に努力し、仲間と共に学び合う姿勢を作る。 ・韓国語をはじめとする韓国文化に関心を持ち、紹介することができる。自分の文化や考え方を添えて客観的に説明する能力を身につけることを目指す。 			

ハングル応用		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		外国語	2	国際・文化理解	3	選択	
履修条件	「ハングルⅡ」を履修またはそれを同等以上の語学力を有していることが望ましい。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○		○	○	
評価	定期考査を中心に、課題研究や発表活動や授業への取り組み等を加味して総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販のテキスト、担当者作成教材など				
受講アドバイス							
内容	<p>○発音、応用的な文法事項を含む総合的な授業。</p> <p>○ハングルⅡ内容に加え、より具体的な表現を学ぶ。</p> <p>○韓国語の日常的な会話、質問に韓国語で答えられるようにする。</p> <p>○韓国の文化、日常生活などをより深く学ぶ。</p> <p>○TOPIK(韓国語能力試験)5級レベルを全員が修得する。4級レベルも目指せるような総合的な語学能力を養成する。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・ハングルを学習しながら日常会話からさらに趣味や自分の意見などを伝えられるようにする。 ・スピーチコンテストへの出場を課題とし、入賞を目指す。 ・クラスメートと良い関係を築き、目標のために積極的に努力し、仲間と共に学び合う姿勢を作る。 ・韓国語をはじめとする韓国文化に関心を持ち、紹介することができる。自分の文化や考え方を添えて客観的に説明する能力を身につけることを目指す。 			

フランス語Ⅰ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分		
		外国語	2	国際・文化理解	1・2	選択		
履修条件								
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他	授業中に試験を実施。
	○	○	○			○		
評価	考査を中心に、小テスト・提出物や授業への取り組み（2～3割）を加味して総合的に評価する。							
教材	教科書	補助教材	教材内訳			教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	補助教材、担当者作成の教材			¥2,500程度		
受講アドバイス	やりたい意欲、自分なりの目標を持ち続けることを強く勧めます。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○発音、基本的な文法事項を含む総合的な授業。 ○フランス語が全く初めての人に、入門から手ほどきをする。 ○フランス語の簡単な質問にフランス語で答えられるようにする。 ○フランスの文化、日常生活などを学ぶ。 							

フランス語Ⅱ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分		
		外国語	2	国際・文化理解	2・3	選択		
履修条件	2年次にフランス語Ⅰを履修していることが望ましい。							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他	
	○	○	○		○	○		
評価	授業中の小テストや実技チェック等の授業への取り組みを点数化して評価する。							
教材	教科書	補助教材	教材内訳			教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	補助教材（フランス語Ⅰから継続使用）			¥2,500程度(新規のみ)		
受講アドバイス	一生懸命取り組み、フランス語が少しでも使えるようになった、という達成感を味わってください。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○フランス語のネイティブスピーカーと、あいさつや自己紹介以上の会話ができるようになることを目指す。 ○語彙を増やして、簡単なフランス語のラジオ・ニュースなどが聞き取れることを目指す。 							

フランス語応用		教科	単位	系列	対象年次	履修区分		
		外国語	2	国際・文化理解	3	選択		
履修条件	2年次にフランス語Ⅱを履修またはそれと同等以上の語学力を有していることが望ましい。							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他	
	○	○	○		○	○		
評価	授業中の小テストや実技チェック等の授業への取り組みを点数化して評価する。							
教材	教科書	補助教材	教材内訳			教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	担当者作成の教材他			0		
受講アドバイス	フランス語でコミュニケーションする達成感と充実感を味わってください。							
内容	<p>フランス語Ⅱを受講していることが望ましいが、同時履修も努力次第で可です。</p> <p>自分の考えを、ただどしどしともフランス語で相手に伝え、それについての相手の答えも理解できることで、あいさつやショッピングなどの定型の会話を越えた、フランス語を通じた生きたコミュニケーションができるようになることを目指し、様々な演習を行っていきます。</p>							

保育基礎Ⅰ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		家庭	2	ライフデザイン	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○		○	○	
評価	レポート・テスト・作品提出・授業への取り組み、出席状況等により総合的に判断する。長期休業中課題あり。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	自校作成プリント		¥1,000 程度	離乳食実習、被服実習、児童文化財材料費 等	
受講アドバイス	幼児教育・保育系学校への進学を希望する者を対象とした授業である。講義だけでなく、外部施設での実習も複数回あるため、欠席や遅刻の少ない者。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児の発育や発達について学び、乳幼児の保育や福祉に関する知識と技術を体験的な活動を通して身につける。 ○乳幼児の発育や発達に関する講義及び実習(製作物等あり) ○保育園等における実習 ※保育園実習着には体操着を着用する。身だしなみ(爪・髪など)についても厳しく指導する。						

保育基礎Ⅱ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		家庭	2	ライフデザイン	3	選択	
履修条件	「保育基礎Ⅰ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○	○	
評価	レポート・テスト・作品提出・授業への取り組み、出席状況等により総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○		自校作成プリント		¥700 程度	幼児食実習、被服実習、児童文化財費 等	
受講アドバイス	幼児教育・保育系学校への進学を希望する者を対象とした授業である。講義だけでなく、外部施設での実習も複数回あるため、欠席や遅刻の少ない者。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○保育所保育指針、幼稚園学習指導要領に基づく、保育技術等に関する知識と技術(製作物を含む)を身につける。 ○子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ○保育園や幼稚園における実習 ※教科書は「保育基礎Ⅰ」と同じものを使用する。 ※実習には体操着を着用する。身だしなみ(爪・髪など)についても厳しく指導する。						

フードデザイン		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		家庭	2	ライフデザイン	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○		○	○	○	○	
評価	テスト・提出物・授業への取り組み・出席状況により総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	自校作成プリント		¥5,000 程度	食材、実習に必要な消耗品 等	
受講アドバイス	講義を中心に、調理実習(レポート提出を含む)を実施。欠席や遅刻の少ない者。栄養・調理等の進学を希望する者が望ましい。長期休業中課題あり。食べることも学習の一環とする。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○栄養、食品、料理様式と献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を身につける。 ○食習慣、栄養状態、食料事情、食の安全及び環境との関わりなどの視点で、日本や世界の食生活の現状と課題を理解する。 ※実習にはエプロン・三角巾・マスク・手拭きタオルを用意する。身だしなみ(爪・髪など)についても厳しく指導する。						

生活と福祉		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		家庭	2	ライフデザイン	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○	○	
評価	レポート・テスト・提出物・授業への取り組み、出席状況により総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	自校作成プリント		¥500 程度	食材、実習に必要な消耗品 等	
履修アドバイス	講義を中心に、外部施設での実習も実施する。欠席や遅刻の少ない者。さらに、老若男女問わず、様々な人と積極的に関わることができる者が望ましい。						
内容	<p>○福祉に対して様々な角度から考え、講義と実習を通して「福祉」とは何かを考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内における実習及びレポート作成 ・「高齢者施設」と「障害者施設」における実習及びレポート作成 <p>※実習には体操着を着用する。身だしなみ(爪・髪など)についても厳しく指導する。</p>						

家庭科探究		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		家庭	2	ライフデザイン	2	選択	
履修条件	履修を考える者は、家庭科教員に要相談。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○	○	○		
評価	授業への取り組み、レポート、プレゼンテーション、出席状況などを総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	自校作成プリント、家庭基礎教科書・資料集 他		設定テーマによる	実習、実験、製作物などの材料費など。	
履修アドバイス	家庭基礎及び家庭生活に強い興味がある者。						
内容	<p>○他の家庭科に関わる選択科目では網羅できない各分野を融合させ、深く学ぶ。</p> <p>○私たちの生活している地域・社会にある課題発見から解決、実践、検証し、新たな課題発見へとつなげる「課題解決学習」である。</p> <p>○課題を解決するために、実習、実験、製作なども含む。</p> <p>○発表・プレゼンテーションを行い、3年次の課題研究へとつなげる。</p> <p>○教科書・資料集は1年次の「家庭基礎」と同じものを使用する。</p>						

ファッション造形基礎		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		家庭	2	ライフデザイン	2	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○				
評価	作品提出・レポート・授業への取り組み、出席状況等により総合的に判断する。作品提出を重視する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	自校作成プリント・パターン・キット・被服材料など		¥5,000 程度	型紙、作品キット、共通使用の布 等 別途、各自で購入する材料あり。	
履修アドバイス	欠席や遅刻の少ない者。モノ作りが好きな者。放課後の作業あり。						
内容	<p>○被服構成の基礎、構成技法、被服材料の特徴に関する知識と技術を習得し、被服を創造的に製作する能力を身につける。(手縫い及びミシン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服構成の基礎 ・被服の構成技法 ・被服材料の種類と特徴 ・被服の製作 						

服飾手芸		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		家庭	2	ライフデザイン	3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○				
評価	作品提出・レポート・授業への取り組み、出席状況等により総合的に判断する。作品提出を重視する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント・キット・作品製作材料など		¥3,000 程度	布、各種糸、毛糸、編み棒、作品キット等別途、各自で購入する材料あり。	
受講アドバイス	ミシンを使用しない手作業の実習が中心のため、製作への根気強い姿勢と集中力が必要である。欠席や遅刻の少ない者。モノ作りが好きな者。放課後の作業あり。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○手芸の種類と変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を身につける。 ○基本的な技術を習得した後、体験した技法を応用し、作品を完成させる。 						

情報Ⅱ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		情報	2	情報デザイン	2・3	選択	
履修条件	「情報Ⅰ」を履修した者						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○		○	○	
評価	定期考査、レポート、実習・実技、授業への取り組み、出席状況等で総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	自校作成教材、市販テキスト		¥2,000 程度	市販テキスト	
受講アドバイス	情報系の大学への進学を考えている者(特にデータサイエンス、AI 方面)						
内容	<p>「情報Ⅰ」を進展させ、情報システムや多様なデータを適切かつ効果的・創造的に活用する力や、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報社会の進展と情報技術 ○コミュニケーションとコンテンツ ○情報とデータサイエンス ○情報システムとプログラミング ○情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究 						

ワープロ		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		情報	2	情報デザイン	2・3	選択	
履修条件	※ワープロ検定1級取得者は履修不可						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○				
評価	実技テスト・提出物、出席状況・授業態度等を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販のテキスト、問題集		¥5,000 程度	検定試験対策問題集、検定料	
受講アドバイス	検定の受験・合格を目指すので、欠席せずに練習すること。検定料がかかります。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○文書処理に関する基礎技術を学びます。日本情報処理検定協会(ワープロ)の受験を必須とします。 ・ワープロソフト基本操作、タイピング練習 ・文書レイアウト、ビジネス文書の作成 ・罫線の活用、表の作成 ・画像や図形の利用 ・ワープロ検定試験の対策 						

表計算応用		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		情報	2	情報デザイン	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○				
評価	実技テスト・提出物、出席状況・授業態度等を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販のテキスト、問題集		¥5,000 程度	検定試験対策問題集、検定料	
受講アドバイス	検定の受験・合格を目指すので、欠席せずに練習すること。検定料がかかります。						
内容	<p>○表計算ソフトに関する発展・応用技術を学びます。日本情報処理検定協会（表計算）の受験を必須とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフト概要 ・計算 ・関数の応用 ・関数の発展 ・情報処理検定（表計算）試験の対策 						

デジタル映像制作		教科	単位	系列	対象年次	履修区分										
		情報	2	情報デザイン	2・3	選択										
履修条件																
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他									
	○	○	○		○											
評価	提出物・出席状況・授業態度等を総合的に判断する。															
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳										
		○	自校作成プリント		0											
受講アドバイス	写真や動画の撮影をし、映像作品を制作します。毎回出席し、課題に取り組める者。フィールドワークがあるので欠席や遅刻が少ない者。															
内容	<p>○カメラやビデオの扱い方、撮影・編集に関する基礎技術を学びます。</p> <table border="0"> <tr> <td><写真></td> <td><ビデオ></td> </tr> <tr> <td>・カメラの扱い方</td> <td>・ビデオカメラの扱い方</td> </tr> <tr> <td>・構図と色彩</td> <td>・ストーリー構成</td> </tr> <tr> <td>・撮影方法</td> <td>・撮影方法</td> </tr> <tr> <td>・編集技術</td> <td>・編集技術</td> </tr> </table>						<写真>	<ビデオ>	・カメラの扱い方	・ビデオカメラの扱い方	・構図と色彩	・ストーリー構成	・撮影方法	・撮影方法	・編集技術	・編集技術
<写真>	<ビデオ>															
・カメラの扱い方	・ビデオカメラの扱い方															
・構図と色彩	・ストーリー構成															
・撮影方法	・撮影方法															
・編集技術	・編集技術															

デジタルグラフィックデザイン A		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		情報	2	情報デザイン	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○		○		
評価	提出物・作品の割合は70%から80%、残りを出席状況と授業態度・意欲等をもとに総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		0		
受講アドバイス	Photoshop, Illustrator などのグラフィックソフトの操作経験はないが、将来、広告デザイン、イラストレータなどの進路を考えている者。						
内容	<p>○デジタルグラフィックデザイン A は入門、初心者向け講座です。</p> <p>○マルチメディアの基礎的な知識と技術を習得し、Web ページによる情報発信、レポートやプレゼンテーションの資料作成に活用できる技術と能力を高めることを目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静止画像、図形の作成・編集ソフトウェアによる実習と作品の制作 ・動画や音・音声編集ソフトウェアによる実習と作品の制作 ・マルチメディアコンテンツ作成ソフトウェアによる実習と作品制作 ・生成系 A I による実習と作品制作 <p>※受講者の習熟度および進度により、内容を変更する場合があります。</p>						

デジタルグラフィックデザイン B		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		情報	2	情報デザイン	2・3	選択	
履修条件	デジタルグラフィックデザイン A を履修していることが望ましい。						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○		○		
評価	提出物・作品の割合は 70% から 80%、残りを出席状況と授業態度・意欲等をもとに総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		0		
受講アドバイス	自宅で Photoshop, Illustrator などのグラフィックソフトの操作経験があり、将来、広告デザイン、イラストレータなどの進路を考えている者						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルグラフィックデザイン B は経験者、中・上級者向けの講座です。 ○コンピュータを利用したデザインの発展的な技術を学びます。 ・画像処理、合成、グラフィックデザインの制作 ・描画ツール、レイヤー機能を使った制作 ・ミュージックビデオのグラフィックデザイン ・パッケージデザイン（音楽ジャケット、書籍、名刺、飲料容器、ポスターなど） 						

プログラミング入門		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		情報	2	情報デザイン	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○				
評価	実習課題を中心に、定期考査や授業への取り組み等を加味して総合的に評価する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
			担当で作成の教材など				
受講アドバイス	情報 I のプログラミングを復習しながら、発展的な内容も扱います						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○プログラミングの基本の確認 ○プログラミングの応用、アプリの制作 ○共通テスト情報 I のプログラムの内容の演習 ○基本情報技術者試験対策（希望者がいれば） ※受講者の習熟度・進度により、使用するプログラミング言語、授業内容を変更する場合があります。 						

マーケティング		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		商業	2	社会・教養	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○				○	
評価	定期テスト、提出物（定期試験 80 + 提出物 20）						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	市販テキスト		¥2,500 程度	市販テキスト	
受講アドバイス	全商商業経済検定 2 級及び日商販売士検定 3 級の受験・合格を目指すので、欠席せずに受講すること。受講料がかかります。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○現代市場におけるマーケティングが果たす役割とその意義について学びます。 ○現代市場の特徴とマーケティングに関する基本的な知識を学びます。 ○市場調査がマーケティング活動の出発点であることを学びます。 ○企業の製品開発の実際について学びます。 ○販売促進活動の役割と内容について学びます。 ○プロモーション活動と広告の種類と役割について学びます。 ○全商商業経済検定 2 級及び日商リテールマーケティング（販売士）検定の受験、合格を目指します。 						

簿記		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		商業	2	社会・教養	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○	○				○	
評価	定期テスト、小テスト、提出物（定期試験80＋小テスト10＋提出物10）						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	○	○	市販テキスト		¥2,000程度	市販テキスト	
受講アドバイス	全商及び日商3級受験・合格を目指すので、欠席せずに受講すること。受講料がかかります。						
内容	<p>○企業における取引の記入から決算処理までを通して簿記の仕組みについて学びます。 商品売買の取引について記帳の方法を学びます。 資産、負債、資本の意味を理解し貸借対照表を作成します。 費用と収益の意味を理解し損益計算書を作成します。 決算整理について理解し、手続き全体の流れを学びます。</p> <p>○帳簿や財務諸表を通して、ビジネスの諸活動を計数的に把握することを学びます。 ○全商及び日商簿記検定試験3級の受験、合格を目指します。</p>						

茶道・華道		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		日本の伝統・文化	2	国際・文化理解	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○		○				
評価	出席状況と授業への取り組み、レポート等により総合的に判断します。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成教材		¥20,000程度	花代・お茶・お菓子代等	
受講アドバイス							
内容	<p>○茶道や華道の歴史や基本的な精神を学びます。 実際に茶道や華道の作法を学び、所作の美しさを身につけるとともに内面的な精神の豊かさを育みます。 ○一年を通じて特別専門講師が担当します。 ○授業は半期ごとに茶道と華道を入れ替えて行う予定です。 ○華道の授業では、一定回数のご参加でお免状の申請が可能となります。 なお、お免状の申請には別途費用が必要となりますので、ご了承ください。</p>						

環境科学		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		環境	2	サイエンス・環境	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	発表・プレゼン	定期考査	その他
	○		○	○	○		
評価	授業への取組・提出物などで総合的に評価を行う。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント				
受講アドバイス	環境科学、農学、生物学、地学等に興味がある者、野外実習に積極的に参加できる者。						
内容	<p>○水を知ろう(水の循環・水辺の生物・水と人間生活) ○木を知ろう(森林の役割・樹木の観察) ○植物と人の関わり(植物観察、実験) ○資源と環境(リサイクル・エネルギー問題) ○生物と環境(生態系・生物の適応・生物のつながり) ○1年を通じて、特別専門講師が担当する。</p>						

手話		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		ホスピタリティ	2	ライフデザイン	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○		○		○	○	
評価	定期考査、提出物、出欠・授業への取り組み等により、総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	市販テキスト		¥1,650	市販テキスト	
受講アドバイス	実技中心の授業のため、欠席や遅刻の少ない者。						
内容	<p>○この授業では聴覚障害者という枠の中でも、ろう者が母語としている日本手話に視点をおく。(日本手話は日本語とは異なる言語体系のため、外国語と同じようなものである)視覚言語である手話に慣れ、ろう者と簡単なコミュニケーションができるようになるまでを、到達点とする。</p> <p>○言語を学ぶだけでなく、ろう文化や背景、課題にも触れて、ろう者・聴覚障害者への理解を深める。</p> <p>○1年を通じて、特別専門講師が担当する。</p>						

心理学入門		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		ホスピタリティ	2	社会・教養	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○				○	
評価	定期考査、提出物を7～8割程度を目安として、授業への取り組み等を加味して総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
		○	自校作成プリント		0		
受講アドバイス							
内容	<p>○心理学についての基礎知識の習得を目標とする。</p> <p>心理学が実際に社会でどのように活用されているか、自己理解や他者理解にどのようにつながるものであるか、演習を交えながら理解する。</p> <p>・感覚・知覚心理学 ・認知心理学 ・社会心理学 ・発達心理学</p> <p>・性格心理学 ・臨床心理学 ・異常心理学</p> <p>○1年を通じて、特別専門講師が担当する。</p>						

社会参画A		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		ホスピタリティ	2	社会・教養	2・3	選択	
履修条件							
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	その他
	○	○	○		○		
評価	提出物(課題)・プレゼンテーション・取り組み姿勢等を総合的に判断する。						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	なし	○	自校作成プリント		0	別途、フィールドワーク(校外学習)で交通費等がかかる場合がある。	
受講アドバイス	ディスカッション、プレゼンテーション等に積極的にチャレンジしてみたい生徒。自己理解を深め、大学で何を学びたいかを考えたい生徒。						
内容	<p>総合型選抜入試で問われる、「自分は何を目指したいのか、そのために何を学び、社会とどのようにかかわっていききたいか」を自分の意見や経験を基に考え、言葉にできるようになることを目指します。観察力・質問力・プレゼンテーション力といった総合的なコミュニケーション能力を高め、他者と積極的にかかわりながら自分の興味関心を深めたり、自分なりの新たな気づきや意見を生み出したりする力を身に付けます。具体的には、実社会で活動しているNPO等と連携し、自分の興味関心や問題意識を題材にディスカッションやプレゼンテーションを基本とした授業を実施する予定です。</p>						

社会参画B		教科	単位	系列	対象年次	履修区分	
		ホスピタリティ	2	社会・教養	3	選択	
履修条件	社会参画Aの受講後の履修が望ましい						
授業形態	講義	演習	実習・実技	実験	競・プレゼン	定期考査	※社会参画Aと併せての履修可能
	○	○	○	○	○	○	
評価	提出物（課題）・プレゼンテーション・取り組み姿勢等を総合的に判断する						
教材	教科書	補助教材	教材内訳		教材費概算(除教科書)	教材費内訳	
	なし	○	自校作成プリント		0	別途、フィールドワーク(校外学習)で交通費等がかかる場合がある。	
受講アドバイス	フィールドワーク、プロジェクト学習等の自ら行動を起こして学んでいくことに積極的にチャレンジしてみたい生徒。						
内容	<p>総合型選抜入試で問われる、「自分は何を目指したいのか、そのために何を学び、社会とどのようにかかわっていききたいか」について、実際に自分の興味関心や課題意識を基にアクションを起こし、アクションの結果や過程から学び続ける力を身に付けることを目指します。自分の興味関心や課題意識のあることに対して、フィールドワークやアンケートなどの調査活動を行い、得られた情報を基に「自分は何ができるか?」を考えてアクションを起こすことまで実施する予定です。実際にアクションを起こして学ぶ中で、自分の興味関心や強みなど自己認識を深めながら、社会の実態や構造の理解を深め、課題発見力、計画力、実行力、柔軟性といった実際に社会に出ていくにあたって必要な力を伸ばします。</p> <p>※社会参画Aの受講後の履修が望ましい。</p>						